

## 現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事

### 1 現場の状況

工事場所は、福山市新市町大字新市 852 番地に位置し、新市 50 号線に接しています。

工事期間中、2026 年 7 月 18 日（土）から 8 月 24 日（月）は夏休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、児童が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

### 2 別途工事

LED 照明改修工事

### 3 留意事項

- (1) 8 月 25 日（火）から 2 学期が開始するため、それまでに渡り廊下及び 1 階玄関部分の改修工事を完了させ、使用可能な状態にしてください。  
また、放課後児童クラブの児童利用経路等に支障がないよう、必要な対応をお願いします。
- (2) 夏休み期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (3) 校舎等の使用状況により、施工方法及び内容に変更が生じる場合があります。
- (4) 工事着手後、速やかに外壁劣化数量調査を行い、調査報告書を提出のうえ監督員の承諾を得て改修工事に着手してください。
- (5) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、児童、第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (6) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議のうえ決定してください。また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (7) 工事期間中であっても、室内換気や空調設備が使用できるように必要な対策を講じてください。
- (8) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適切に処理してください。なお、再資源化を図る資材は、「その他がれき類、廃プラスチック、建設混合廃棄物」です。

### 4 一般留意事項

- (1) 工事にあたっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬出入時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工

事期間中の進入、退出路にかかる維持管理は、受注者で行ってください。

- (4) 工事に係る留意事項は、下請負業者及び資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (5) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (6) 工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (7) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。また、仮囲い等については、設計図書等をもとに確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設、一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (8) 本工事場所の進入口、通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (9) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工計画書等についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ない、手続きを行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。
- (15) 受注者は、工事实績情報システム（コリンズ）への登録内容をあらかじめ監督員の承諾を受け、次表の期間内に登録申請をしてください。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内


- (16) 本工事は、受注者希望により、インターネットを利用して発注者及び受注者の情報を電子的に交換・共有し効率化を図る情報共有システムが利用できる工事です。利用を希望する場合の情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払ってください。運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び情報共有システム利用手引（建築工事）」を参照してください。

本工事は、受注者希望型のため、共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいません。本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て利用してください。その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとします。

# 福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事

図 面 目 録	
図面番号	図 面 名 称
1	外壁改修工事特記仕様書 No-1
2	外壁改修工事特記仕様書 No-2
3	外壁改修工事特記仕様書 No-3
4	外壁改修工事特記仕様書 No-4
5	外壁改修工事特記仕様書 No-5
6	外壁改修工事特記仕様書 No-6
7	敷地案内図・配置図
8	1階・2階・R階平面図
9	立面図
10	矩計図・部分詳細図・F工法詳細図
11	附属棟（倉庫、南門（正門））
12	附属棟（渡り廊下、農機具置場、西門）

福山市建設局建築部営繕課					2026年 4月	
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長	兼注

工事名称 福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事			
図面名称 表紙・図面目録			
	福山市建設局建築部営繕課		縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%
	設計 2026年 4月 1日		図面番号

# 福山市建築改修工事特記仕様書

## I 工事概要

1. 工事場所 広島県福山市新市町大字新市 8 6 2 番地
2. 敷地面積 1 8 . 6 1 7 m<sup>2</sup>
3. 工事種目 防水改修、外壁改修、塗装改修
  - (1) 北棟校舎：鉄筋コンクリート造、2階建、延べ面積：5 0 1 m<sup>2</sup>
  - (2) 倉庫：コンクリートブロック造、2階建、延べ面積：4 8 m<sup>2</sup>
  - (3) 渡り廊下：鉄骨造、平家建、延べ面積：4 8 . 2 5 m<sup>2</sup>
  - (4) 農機具置場：鉄骨造、平家建、延べ面積：9 m<sup>2</sup>
  - (5) 南門（正門）
  - (6) 北門
  - (7) 西門

## 4. 工事範囲

- ※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
- ・「3. 工事種目」のうち の全てを工事範囲とする。
- 「3. 工事種目」のうち (1)～(7) の工事範囲は次表のとおりとする。ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
② 仮設工事	(1), (2), (3), (4)
③ 防水改修工事	(1), (2)
④ 外壁改修工事	(1), (2), (7)
5 建具改修工事	
6 内装改修工事	
⑦ 塗装改修工事	(1), (2), (3), (4), (5), (6), (7)
8 耐震改修工事	
9 環境配慮改修工事	

## II 建築改修工事仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
  - 建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）
  - 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）
2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事を含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を用いる。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（ / ）図、機械設備工事の工事特記仕様書は（ / ）図による。
3. 特記仕様書の適用は次による。
  - (1) 項目は、○ 印の付いたものを適用する。
  - (2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
    - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
    - 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
  - (3) 特記事項に記載の [ . . . ] 内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

## III 福山市建築改修工事仕様

本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。  
 本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。  
 本工事は、法定外の労務保護を含んでいる。

- ① 官公署の手続き  
受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督職員の承諾後とする。)
2. 施工中の安全確保  
本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。  
交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。
- ③ 監理（主任）技術者  
現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。
- ④ 別契約の関連工事との調整等  
・ 施工範囲は「工事区分表」による。  
○ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。  
○ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。
- ⑤ 施工管理  
※ 施工体制台帳の写しを提出する。
- ⑥ 施工図及び施工計画書  
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
- ⑦ 保証書  
次の工事について保証書を提出する。

工事区分	材料名	保証年限	備 考
○ 防水工事	○ 合成高分子フーリング防水	10 年	
	○ 塗膜防水	10 年	
○ 外壁改修工事	○ 外壁複合改修工法	10 年	
	・	年	
	・	年	
	・	年	
	・	年	
	・	年	
	・	年	
	・	年	
	・	年	

8. 引渡し後点検  
引渡し後、次の点検を行う。（○印の付いたものを適用する。）
  - ・ 引渡し後点検（第1次点検） 引渡し後の概ね1年後
  - ・ 引渡し後点検（第2次点検） 引渡し後の概ね2年後

章	項目	特記事項									
①	○ 一般事項	<p>適用基準            図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次による。            ○ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部            ○ 営繕工事写真撮影要領（令和5年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部            ○ 建築工事標準詳細図（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課            ・</p>									
	○ 工事実績情報システム（コリンズ）への登録	登録 ○ する									
	○ 書面の書式及び取扱い	<p>情報共有システムの適用及び機能要件            ○ 適用する機能要件（○ 現場説明書による）</p>									
	・ 遮隔臨場の実施	遮隔臨場の適用及び実施内容 ・ 適用する実施内容（・ 現場説明書による）									
	○ 実施工程表	概成工期 ・ 有り（・ 現場説明書による） ○ 無し									
	○ 工事の記録等	報告に用いる書式等 ・ 現場説明書による ○ 改修標準仕様書 1. 2. 4（4）により整備する工事写真については次による 「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編 令和5年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備									
	○ 電気保安技術者	配置 ・ する									
	○ 施工条件	<p>・ 施工順序（ ）            ・ 工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所（ ）            ○ 改修標準仕様書 1. 3. 5（1）から（3）まで以外の施工条件            ○ 現場説明書による            ○ 作業時間は、原則午前8時から午後5時までとし、通学時間帯を考慮する。            ○ 日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。            ・ 週休二日適用工事（・ 現場説明書による）</p>									
	○ 発生材の処理等	<p>処理等            ・ 発注者に引渡しを要するもの            ・ 現場説明書による            ・ 特別管理型産業廃棄物の種類及び処理方法            ・ 現場説明書による            ○ 工事現場において再利用及び再資源化を図るもの            ○ 現場説明書による            ・ ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理（・ 製造業者へ処分委託 ・ 管理型最終処分場で処理）            ・ 石綿含有せっこうボード、ひ素・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理（・ 管理型最終処分場で処理 ・ 再資源化）            ・ POB含有シーリング材の分析調査（・ 行う ・ ）            ・ POB含有シーリング材の撤去（・ 行う ・ ）            ・ 特別管理型産業廃棄物の分析調査（・ 行う ・ ）            ※ 建設副産物情報交換システム（COBRIS）（財）日本建設情報総合センター            本工事は登録対象工事であるため、発注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。            また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>施 工 計 画 時</th> <th>工 事 完 了 時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搬入</td> <td>再生資源利用計画書</td> <td>再生資源利用実施書</td> </tr> <tr> <td>搬出</td> <td>再生資源利用促進計画書</td> <td>再生資源利用促進実施書</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。            なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。</p>		施 工 計 画 時	工 事 完 了 時	搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書	搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書
		施 工 計 画 時	工 事 完 了 時								
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書									
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書									
○ 石綿含有建材の調査	<p>調査            ※ 石綿含有建材の事前調査            工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。            調査範囲            ・ 図示による ○ 建具周囲の既存シーリング            資与資料            ○ 分析による石綿含有建材の調査            分析対象            アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロソライト、トレモライト            資料採取箇所            ○ 「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】」の1. 7. 11による            ・ 図示による</p>										
○ 施工数量調査	各章の特記による。										

章	項目	特記事項
②	○ 技能士	<p>適用            適用する技能検定の職種及び作業の種別は次表による。 [1. 7. 2]            適用工事種別 職 種 技能検定の作業の種別            仮設工事 とび ○ とび作業            鉄筋工事 鉄筋施工 ・ 鉄筋組立て作業            ・ 型枠工事作業            コンクリート工事 コンクリート圧送施工 ・ コンクリート圧送工事作業            鉄骨工事 鉄工 ・ 構造物取作業            コンクリートブロック ALC パネル及び押出ブロック建築 ・ コンクリートブロック工事作業            成形セメント板工事 エーエルシーパネル施工 ・ エーエルシーパネル工事作業</p>
	防水工事	<p>防水施工            ・ アスファルト防水工事作業            ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業            ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業            ・ 合成ゴムシート防水工事作業            ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業            ・ セメント系防水工事作業            ○ シーリング防水工事作業            ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業            ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業            ・ FRP防水工事作業</p>
	石工事	石材施工 ・ 石張り作業
	タイル工事	タイル張り ・ タイル張り作業
	木工事	建築大工 ・ 大工工事作業
	屋根及びとい工事	建築板金 ・ 内外装板金作業
	金属工事	内装仕上げ施工 ・ 鋼製下地工事作業 建築板金 ・ 内外装板金作業
	左官工事	左官 ・ 左官作業
	建具工事	サッシ施工 ・ ビル用サッシ工事作業 ガラス施工 ・ ガラス工事作業 自動ドア施工 ・ 自動ドア施工作業
	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工 ・ 金属製カーテンウォール工事作業 サッシ施工 ・ ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ・ ガラス工事作業
塗装工事	塗装 ○ 建築塗装作業 ・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業	
内装工事	内装仕上げ施工 表装 ・ 建築配管作業	
排水工事	配管 ・ 建築配管作業	
舗装工事	路面標示施工 ・ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・ 加熱ペイントマシナーカー工事作業	
植栽工事	造園 ・ 造園工事作業	
・ 化学物質の濃度測定	濃度測定の実施 [1. 7. 10] ・ 適用する測定時期 ・ 現場説明書による 測定対象化学物質 ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチレベンゼン、ステレン 測定方法 ・ バックシンプ採取機器による 測定対象室及び測定箇所 ・ 現場説明書による	
○ 技術検査	中間技術検査 [1. 8. 2] ・ 実施回数（ ）回 ・ 実施する段階（ ） ※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知	
○ 完成時の提出図書	提出図書 ※ 改修標準仕様書 1. 9. 2 及び 1. 9. 3 による	
○ 完成図	種類、記入内容等 [1. 9. 2][表 1. 9. 1] ※ 改修標準仕様書 表 1. 9. 1 による 提出部数（ 1 ）部 提出仕様（ ・ 紙ベース ○ 電子データ ・ ） ※ 竣工図 速やかに次の図書を提出する（※ 完成図 ・ 竣工図） ○ A3 判を2つ折りにして製本 1 部 ・ 部 ※ 電子データ提出 一式（福山市竣工図電子データ作成要領による。） ○ CAD データ（媒体（CD-R等）、データ形式等は監督職員の指示による。）	
・ 保全に関する資料	作成等 [1. 9. 3] 提出部数（ 1 ）部 提出仕様（ ・ 紙ベース ・ 電子データ ・ ）	
○ 完成写真	工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。 撮影箇所（外景4面、各室4面） 撮影仕様（形 式：※ 電子データ JPEG フルカラー） 画質等：○ 外景 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの ○ 各室 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質） 提出仕様（ ⊗ 電子データ ・ アルバム（A4判程度）1部 ○ 写真紙 1部 ） 検査後14日以内に提出する。 電子データ形式等は、監督職員の指示による。	

章	項目	特記事項																												
③	・ 騒音・粉じん等の対策	<p>・ 防音パネル [2. 1. 3]            ・ 防音シート            防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲            ・ 図示による</p>																												
	○ 足場等	<p>外部足場 [2. 2. 1][表 2. 2. 1]            ○ 設置する（設置範囲 ○ 工事に必要な範囲 ・ ）            ・ 設置しない            防護シート            ○ 設置する（設置範囲 ○ 工事に必要な範囲 ・ ）            ・ 設置しない            内部足場            ○ 設置する（※ 脚立、足場板等 ・ ）            ・ 設置しない            ○ 材料、撤去材等の運搬方法            種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ E種 ）            C種：利用可能なエレベーター（ ）            D種：利用可能な階段（ ）</p>																												
	○ 既存部分の養生	<p>養生方法等 [2. 3. 1]            ○ 既存部分            養生方法（※ ビニルシート、合板 ・ ）            ○ 既存家具、既存設備等            養生方法（※ ビニルシート等 ・ ）            ・ 既存ブラインド、カーテン等            養生方法（ ・ ビニルシート等 ・ ）            ・ 保管場所（ ・ 図示による ）            ・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動            ・ 図示による</p>																												
	・ 仮設間仕切り	<p>仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 [2. 3. 2][表 2. 3. 1]            ・ 図示による            仮設間仕切りの種別と材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ（厚さmm）</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ セッコボード 種類（ ・ ） 厚さ（※ 9.5mm ・ mm）</td> <td>・ なし ・ 片面</td> <td>グラスウール 厚さ mm</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 合板 材質（ ・ ） 厚さ（※ 9mm ・ mm）</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>防火シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td>・ なし</td> <td>・ 場所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 片面</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table>	種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填	・ A種	・ セッコボード 種類（ ・ ） 厚さ（※ 9.5mm ・ mm）	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ mm	・ B種	・ 合板 材質（ ・ ） 厚さ（※ 9mm ・ mm）	・		・ C種	防火シート			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	※ 木製	※ 合板張り程度	・ なし	・ 場所	・	・	・ 片面	・ 図示による
	種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填																										
	・ A種	・ セッコボード 種類（ ・ ） 厚さ（※ 9.5mm ・ mm）	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ mm																										
	・ B種	・ 合板 材質（ ・ ） 厚さ（※ 9mm ・ mm）	・																											
	・ C種	防火シート																												
	材質	仕上げ	塗装	設置箇所																										
	※ 木製	※ 合板張り程度	・ なし	・ 場所																										
・	・	・ 片面	・ 図示による																											
○ 監督職員事務所等	<p>監督職員事務所等 [2. 4. 1]            建物            ・ 設置する ○ 設置しない            規模、仕上げの程度            ・ 現場説明書による            設備            ※ 監督職員との協議による            ・ 現場説明書による            備品等の種類及び数量            ・ 現場説明書による</p>																													
○ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できない ○ 利用できる（○ 有償 ・ 無償）																													
○ 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償）																													
工事名称	福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事																													
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-1	尺度 S = No scale																												
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No																												
	A1=100% A2= 71% A3= 50%	1 12																												

章	項目	特記事項
防水改修工事	④ 施工数量調査	調査範囲 [1.6.2][1.6.3] 調査方法 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 調査報告書(提出部数・2部)
	○ 降雨等に対する養生方法(とい共)	※ 改修標準仕様書 3.1.3(5)(ア)~(ウ)による [3.1.3]
	○ 改修工法の種類及び工程	防水改修工法 [3.1.4] ○ 図示による
	○ 既存防水層の処理	既存保護層の撤去 [3.1.4][3.2.6] 既存防水層の撤去 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去 屋内防水 既存下地の処理
	○ アスファルト防水	新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種類 [3.2.5][3.3.2~3.3.5] 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 貼着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 立上り部の保護方法 新設防水層(屋根露出工法)の種類

章	項目	特記事項
改質アスファルトシート防水	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.3.8及び表 3.3.9による 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.3.8及び表 3.3.9による 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上
	絶縁断熱工法のルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置	※ 図示による
	絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量	種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)
	屋内防水	防水層の種類 工法 種類 施工箇所 保護層 設ける(※ 図示による) / 設けない E-1の行程3を行う部位 ※ 貯水槽、浴室等常時水に接する部位 屋上排水溝 ※ 図示による
	新設防水層の種類 [3.2.5][3.4.2][3.4.3]	改修工法 新設 施工 断熱材 仕上塗料 高日射 備考 種類 別 箇所 種類 使用量 防水 防水
	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.4.1から表 3.4.3による 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上
	貼着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.4.1から表 3.4.3による 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.4.1から表 3.4.3による 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上
	立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法	※ アルミニウム製 L=30×15×2.0(mm)程度
	屋根露出防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ	種類 ( ) 厚さ ( )
	絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量	種類 ※ 改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※ 改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)
	絶縁断熱工法の防湿シート	設置する / 設置しない

章	項目	特記事項
合成高分子系ルーフィングシート防水	新設防水層の種類 [3.2.5][3.5.2~3.5.4]	改修工法 新設 施工 断熱材 仕上塗料 高日射 備考 種類 別 箇所 種類 使用量 防水 防水
	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.5.1から表 3.5.3による 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上
	貼着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.5.1から表 3.5.3による 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.5.1から表 3.5.3による 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上
	立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法	※ アルミニウム製 L=30×15×2.0(mm)程度
	新設防水層(ウレタンゴム系塗膜防水)の種類 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]	改修工法 新設 施工 断熱材 仕上塗料 高日射 備考 種類 別 箇所 種類 使用量 防水 防水
	ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量	種類 ※ 主材料の製造所の仕様 設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 (個)

章	項目	特記事項
新設防水層(ゴムアスファルト系塗膜防水)の種類	改修工法 新設 施工 断熱材 仕上塗料 高日射 備考	種類 別 箇所 種類 使用量 防水 防水
	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.7.1による
	シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2,3][3.7.7,8] シーリング再充填工法 シーリング再充填工法 シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 3.7.1による
	○ とい	その他の材料 [3.8.2][3.8.3] 配管用鋼管 種別 呼び 施工箇所 たてどい受金物の取付け [3.9.2][3.9.3] 種別 呼び 施工箇所
	○ アルミニウム製 笠木	種別 呼び 施工箇所 たてどい受金物の取付け [3.9.2][3.9.3] 種別 呼び 施工箇所

工事名称  
福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事

図面名称  
建築改修工事特記仕様書 No-2

縮尺率 図面No  
A1=100%  
A2= 71%  
A3= 50%

2/12

外壁改修工事 共通事項	④	○ 施工数量調査	調査範囲 ○ 外壁改修範囲 ○ 図示による 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び 錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の 形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びひびはく部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひびはく部を壁面に 表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ○ 図示による 調査報告書の部数 ( ○ 1部 )
	4-①	○ ひび割れ部改修 工法	・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5~7] 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 130 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 50~100 40 ・ 注入工法 0.3以上~0.5未満 100~200 70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0未満 150~250 130 注入状況の確認方法 ※ コアの抜取りを行う 抜取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ 抜取り部の補修方法 ※ 図示による ○ Uカットシール材充填工法 ○ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分又は2成分ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ○ 行う ・ 行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
		○ 欠損部改修工法	○ 充填工法 [4.1.4][4.1.4.7] ・ エポキシ樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル

外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁改修	4-②	○ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.5~8] 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 130 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 50~100 40 ・ 注入工法 0.3以上~0.5未満 100~200 70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0未満 150~250 130 注入状況の確認方法 ※ コアの抜取りを行う 抜取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ 抜取り部の補修方法 ※ 図示による ○ Uカットシール材充填工法 ○ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分又は2成分ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ○ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
		○ 欠損部改修工法	○ 充填工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.9,10] ・ エポキシ樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 ・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8.2 コンクリート工事による) ・ 既調査材料 ( ) 既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示による ) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による

外壁改修工事 共通事項	○ 浮き部改修工法	[4.1.4][4.3.5][4.3.11,16] 工法の種類 7/100の本数 (本/m) 注入口の箇所数 (箇所/m) 注入量 (mL/箇所) ○ アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 - - ※ 25 ・ アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 ・ アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50 ・ 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 - - ※ 25 ・ 注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25 ・ 注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50 ・ 充填工法 - - - - ・ モルタル塗替え工法 - - - -
	○ 外壁複合改修工法	アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度 注入工法用材料 ○ ポリマーセメントスラリー 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張接着性 (N/mm2) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2) 吸水性 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2) 3以上 3以上 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘着係数 0.50~1.00 充填工法用材料 ○ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 ・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8.2 コンクリート工事による) ・ 既調査材料 ( ) 既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示による ) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。

4-3	○ タイルの形状、寸法等	タイルの形状、寸法等 [4.4.5][4.4.8] 形状/寸法 再生材料の 吸水率による区分 うぐすり 役物 色 耐凍害性耐汚 備考 施工箇所 (mm) 適用 I類 II類 III類 施す方無ゆう有 無 標準特注 有 無 り性 - 見本焼き ・ 行う (施工箇所: ) ・ 行わない 試験張り ・ 行う (範囲、仕様等は図示による) ・ 行わない
	○ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.5,6] 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 130 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 50~100 40 ・ 注入工法 0.3以上~0.5未満 100~200 70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0未満 150~250 130
	○ 欠損部改修工法	・ タイル部分張替え工法 [4.4.5][4.4.8] 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・ タイル張替え工法 張替え用材料 ・ 接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・ 張付けモルタル ( ・ 現場調査材料 ・ 既調査モルタル ) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 改修標準仕様書表4.4.2による ・ 図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着剤試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法 (改修標準仕様書4.3.10 (3) による) タイル張りの工法 ・ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法 (改修標準仕様書4.3.10 (3) による) シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系 ・ 目地詰め ( ※ 行う ・ 行わない )

外壁改修工事 塗り仕上げ外壁改修	○ 目地改修工法	・ 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.16] ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・ 図示による
	○ 外壁複合改修工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。
4-④	○ 既存塗膜等の除去 下地処理及び 下地調整	[4.5.4] 工法 処理範囲 下地面の補修 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 高圧水洗工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 塗膜はく離工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ○ 水洗い工法 ※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面 ・ 図示による
	○ 下地調整塗材	[4.5.2] ※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル
	○ 仕上塗材仕上げ	[4.1.5][4.5.2] 新規仕上塗材の種類 ○ 薄付け仕上塗材 種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 防火材料 ○ 外装薄塗材E 砂壁状 吹付 ・ ・ 厚付け仕上塗材 (外装厚塗材C) 種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗り 防火材料 ・ ※ セメントスタッコ ・ ・ 厚付け仕上塗材 (外装厚塗材S、外装厚塗材E) 種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗り 防火材料 ・ ・

外壁改修工事 共通事項	○ 浮き部改修工法	[4.1.4][4.4.5,9~15] 工法の種類 7/100の本数 (本/m) 注入口の箇所数 (箇所/m) 注入量 (mL/箇所) ・ アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 - - ※ 25 ・ アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 ・ アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50 ・ 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 - - ※ 25 ・ 注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25 ・ 注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50 ・ 注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入工法 ※ - - - - ※ 25 ・ タイル部分張替え工法 - - - - ・ タイル張替え工法 - - - -
----------------	-----------	--

外壁改修工事 共通事項	○ 目地改修工法	アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度 注入工法用材料 ○ ポリマーセメントスラリー 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張接着性 (N/mm2) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2) 吸水性 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2) 3以上 3以上 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘着係数 0.50~1.00 充填工法用材料 ○ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 ・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8.2 コンクリート工事による) ・ 既調査材料 ( ) 既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示による ) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。
	○ 外壁複合改修工法	アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度 注入工法用材料 ○ ポリマーセメントスラリー 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張接着性 (N/mm2) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2) 吸水性 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2) 3以上 3以上 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘着係数 0.50~1.00 充填工法用材料 ○ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 ・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8.2 コンクリート工事による) ・ 既調査材料 ( ) 既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示による ) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。

外壁改修工事 塗り仕上げ外壁改修	○ 目地改修工法	・ 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.16] ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・ 図示による
	○ 外壁複合改修工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。
4-④	○ 既存塗膜等の除去 下地処理及び 下地調整	[4.5.4] 工法 処理範囲 下地面の補修 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 高圧水洗工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 塗膜はく離工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ○ 水洗い工法 ※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面 ・ 図示による
	○ 下地調整塗材	[4.5.2] ※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル
	○ 仕上塗材仕上げ	[4.1.5][4.5.2] 新規仕上塗材の種類 ○ 薄付け仕上塗材 種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 防火材料 ○ 外装薄塗材E 砂壁状 吹付 ・ ・ 厚付け仕上塗材 (外装厚塗材C) 種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗り 防火材料 ・ ※ セメントスタッコ ・ ・ 厚付け仕上塗材 (外装厚塗材S、外装厚塗材E) 種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗り 防火材料 ・ ・

外壁改修工事 共通事項	○ 復層仕上塗材	種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料 ・ 樹脂 ※ アクリル系 ・ 3種 ・ 外装 ※ つやあり ・ メタリック ・ 溶媒 ※ 水系 ・
	○ 復層塗材E	ゆず肌 ローラー ・ 耐水性 ・ 1種 ・ 耐水性 ・ 2種 ・ 耐水性 ・ 3種
	・ 可とう形改修用仕上塗材	種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料 ・ 樹脂 ・ 1種 ・ 耐水性 ・ 2種 ・ 耐水性 ・ 3種
	・ 外壁用塗膜 防水材塗り	仕上げの形状 [4.1.5][4.7.2,3] ・ 工法 ・ 仕上げ塗料の耐水性 ・ 適用する ・ 適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修) による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。 吹付け工法の仕様材の種類 ・ ( ・ 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) 外壁用仕上塗料の種類 ・ ( ・ 所要量 (kg/m <sup>2</sup> )

5	○ 員改修工事	該当工事無しのため記載を省略
---	---------	----------------

外壁改修工事 塗り仕上げ外壁改修	○ 員改修工事	該当工事無しのため記載を省略
	工事名称 福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事	尺度 S = No scale
図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-3	縮尺率 図面No A1=100% A2= 71% A3= 50%	3 12



7	○ 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ F☆☆☆☆</li> <li>防火材料</li> <li>※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。</li> <li>・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )</li> </ul>																																																																																
	○ 下地調整	<p>塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1]</p> <p>○ 図示による</p> <p>[7.2.3~7.2.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>塗替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部</td> <td>※ R種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ R種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ R種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>※ R種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>※ R種</td> <td>・</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※ R種</td> <td>・</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)</td> <td>・ RA種 ・ RB種</td> <td>・</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※ R種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修	本部	※ R種	・	—	鉄鋼面	※ R種	・	—	亜鉛めっき鋼面	※ R種	・	—	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※ R種	・	—	モルタル、プaster面	※ R種	・	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R種	・	・ 行う ・ 行わない	押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種	・	・ 行う ・ 行わない	せつこうボード面及びその他ボード面	※ R種	・	—																																												
	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修																																																																														
	本部	※ R種	・	—																																																																														
	鉄鋼面	※ R種	・	—																																																																														
	亜鉛めっき鋼面	※ R種	・	—																																																																														
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※ R種	・	—																																																																														
	モルタル、プaster面	※ R種	・	・ 行う ・ 行わない																																																																														
	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R種	・	・ 行う ・ 行わない																																																																														
	押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種	・	・ 行う ・ 行わない																																																																														
せつこうボード面及びその他ボード面	※ R種	・	—																																																																															
○ 素地ごしらえ	<p>[7.3.2~7.3.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面等</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部</td> <td>不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>※ C種 ・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td>※ B種 ・ A種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプaster面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等	種類	本部	不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種	鉄鋼面 (DP以外)	※ C種 ・ A種 ・ B種	鉄鋼面 (DP)	※ B種 ・ A種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種	モルタル面及びプaster面	※ B種 ・ A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※ B種 ・ A種	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	※ B種 ・ A種	せつこうボード面及びその他ボード面	※ B種 ・ A種																																																															
下地面等	種類																																																																																	
本部	不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種																																																																																	
鉄鋼面 (DP以外)	※ C種 ・ A種 ・ B種																																																																																	
鉄鋼面 (DP)	※ B種 ・ A種 ・ C種																																																																																	
亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種																																																																																	
モルタル面及びプaster面	※ B種 ・ A種																																																																																	
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※ B種 ・ A種																																																																																	
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	※ B種 ・ A種																																																																																	
せつこうボード面及びその他ボード面	※ B種 ・ A種																																																																																	
○ 錆止め塗料塗り	<p>錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2~7.4.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>※ C種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">錆止め塗装のまま (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>新規見え掛り</td> <td>※ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-G (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>新規見え掛り</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP (工程の種類は表7.4.4)</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種) (b) による。</td> <td>・ C種 (下地調整R種)</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(イ) (a) による。</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種</td> <td>※ C種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">塗替え</td> <td>その他 ※ B2種</td> <td>※ B種 ・</td> </tr> <tr> <td>新規 鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種</td> <td>※ A種 ・</td> </tr> <tr> <td>規 其他 ※ B2種</td> <td>※ B種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-G (工程の種類は表7.4.5)</td> <td>塗替え</td> <td>C種</td> <td>※ C種</td> </tr> <tr> <td>新規 鋼製建具等</td> <td>C種</td> <td>※ A種 ・</td> </tr> <tr> <td>規 其他</td> <td>C種</td> <td>※ B種 ・</td> </tr> <tr> <td>DP (工程の種類は表7.4.6)</td> <td>塗替え</td> <td>B2種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>B2種</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP	塗替え	※ C種 ・	錆止め塗装のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	※ A種	・ B種	新規見え隠れ	※ B種	・	塗替え	※ B種 ・ A種	・ C種	EP-G (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	※ B種 ・ A種	・ C種	新規見え隠れ	※ B種 ・ A種	・ C種	塗替え	※ B種 ・ A種	・ C種	DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種) (b) による。	・ C種 (下地調整R種)	新規	7.4.2(1)(イ) (a) による。	・ A種	亜鉛めっき鋼面	SOP	鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種	※ C種 ・	塗替え	その他 ※ B2種	※ B種 ・	新規 鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種	※ A種 ・	規 其他 ※ B2種	※ B種 ・	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	C種	※ C種	新規 鋼製建具等	C種	※ A種 ・	規 其他	C種	※ B種 ・	DP (工程の種類は表7.4.6)	塗替え	B2種	—	新規	B2種	—																		
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																															
鉄鋼面	SOP	塗替え	※ C種 ・																																																																															
	錆止め塗装のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	※ A種	・ B種																																																																														
		新規見え隠れ	※ B種	・																																																																														
		塗替え	※ B種 ・ A種	・ C種																																																																														
	EP-G (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	※ B種 ・ A種	・ C種																																																																														
		新規見え隠れ	※ B種 ・ A種	・ C種																																																																														
塗替え		※ B種 ・ A種	・ C種																																																																															
DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種) (b) による。	・ C種 (下地調整R種)																																																																															
	新規	7.4.2(1)(イ) (a) による。	・ A種																																																																															
亜鉛めっき鋼面	SOP	鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種	※ C種 ・																																																																															
	塗替え	その他 ※ B2種	※ B種 ・																																																																															
		新規 鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種	※ A種 ・																																																																															
		規 其他 ※ B2種	※ B種 ・																																																																															
	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	C種	※ C種																																																																														
		新規 鋼製建具等	C種	※ A種 ・																																																																														
規 其他		C種	※ B種 ・																																																																															
DP (工程の種類は表7.4.6)	塗替え	B2種	—																																																																															
新規	B2種	—																																																																																
○ 塗装	<p>[7.5.2~7.13.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">合成樹脂塗合ベイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗装の種類 ※ 1種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ A種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>上塗り等級 ( 3 ) 級</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>上塗り等級 ( ) 級</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>・ B種 ・ C種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ビグメントステイン塗り</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せつこうボード面、その他ボード面) の塗替えのしめ止め</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 改修標準仕様書表 7.9.1 の工程 1 の下塗りをしめ止めシーラーとする</li> </ul> <p>合成樹脂エマルジョンベイント塗りの塗替えのしめ止め</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 改修標準仕様書表 7.10.1 の工程 1 の下塗りをしめ止めシーラーとする</li> </ul> <p>クリヤラッカー塗り A種の工程 2 の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適用しない</li> <li>・ 適用する (着色剤: ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)</li> </ul> <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程 1 の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適用する</li> <li>・ 適用しない</li> </ul>	塗装の種類	塗装面	塗替え	新規	合成樹脂塗合ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種	木部屋内	※ B種	※ B種	塗装の種類 ※ 1種	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ A種	※ B種	・ 2種	鉄鋼面	※ B種	※ B種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種	・ クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※ B種	※ B種	亜鉛めっき鋼面	※ A種	※ A種	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	○ 耐候性塗料塗り (DP)	上塗り等級 ( 3 ) 級	・	—	上塗り等級 ( ) 級	・	—	・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種	屋内の木部	※ B種	※ A種	・ 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種	屋内の亜鉛めっき鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種	コンクリート面	※ B種	※ B種 ・ A種	・ ビグメントステイン塗り	鉄鋼面	※ B種	・ A種	コンクリート面	※ B種	・ A種	・ 木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※ B種	・ A種	コンクリート面	※ B種	・ A種
塗装の種類	塗装面	塗替え	新規																																																																															
合成樹脂塗合ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種																																																																															
	木部屋内	※ B種	※ B種																																																																															
塗装の種類 ※ 1種	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ A種	※ B種																																																																															
・ 2種	鉄鋼面	※ B種	※ B種																																																																															
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種																																																																															
・ クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※ B種	※ B種																																																																															
	亜鉛めっき鋼面	※ A種	※ A種																																																																															
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
	亜鉛めっき鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
○ 耐候性塗料塗り (DP)	上塗り等級 ( 3 ) 級	・	—																																																																															
	上塗り等級 ( ) 級	・	—																																																																															
・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種																																																																															
	屋内の木部	※ B種	※ A種																																																																															
・ 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種																																																																															
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種																																																																															
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種																																																																															
	コンクリート面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
・ ビグメントステイン塗り	鉄鋼面	※ B種	・ A種																																																																															
	コンクリート面	※ B種	・ A種																																																																															
・ 木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※ B種	・ A種																																																																															
	コンクリート面	※ B種	・ A種																																																																															

8	項目	特記事項																				
	○ 石綿含有建材の除去工事	<p>[9.1.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事</li> <li>・ 図示による</li> <li>・ 石綿粉じん濃度測定</li> <li>測定時期、場所及び測定点</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																
	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																		
	○ 石綿含有建材の処理	<p>[9.1.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石綿含有吹付け材の除去 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む)</li> <li>除去対象範囲</li> <li>・ 図示による</li> <li>除去工法</li> <li>※ 改修標準仕様書 9.1.3 (2) (ア) による</li> <li>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置</li> <li>※ 湿潤化 ・ 圓形化</li> <li>除去した石綿含有吹付け材等の処分</li> <li>・ 埋立処分 (管理型最終処分場)</li> <li>・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</li> </ul>																				
	○ 石綿含有保温材等の除去	<p>[9.1.4]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石綿含有保温材等の除去</li> <li>除去対象範囲</li> <li>・ 図示による</li> <li>除去工法</li> <li>※ 原形のまま、手ばらし</li> <li>除去した石綿含有保温材等の飛散防止</li> <li>※ 湿潤化 ・ 圓形化</li> <li>除去した石綿含有保温材等の処分</li> <li>・ 埋立処分 (管理型最終処分場)</li> <li>・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</li> </ul>																				
	○ 石綿含有成形板等の除去	<p>[9.1.5]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石綿含有成形板等の除去</li> <li>除去対象範囲</li> <li>・ 図示による</li> <li>隔離養生 (負圧不要) 方法</li> <li>・ 図示による</li> <li>足場</li> <li>・ 図示による</li> <li>除去した石綿含有成形板等の処分</li> <li>・ 埋立処分 (安定型最終処分場)</li> <li>・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</li> </ul>																				
○ 石綿含有仕上塗材の除去	<p>[9.1.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石綿含有仕上塗材の除去</li> <li>除去対象範囲</li> <li>・ 図示による</li> <li>除去工法</li> <li>養生方法</li> <li>除去した石綿含有仕上塗材の処分</li> <li>・ 埋立処分 (安定型最終処分場)</li> <li>・ 埋立処分 (管理型最終処分場)</li> <li>・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</li> <li>・ 汚泥としての処理</li> </ul>																					
○ 外断熱改修工事	<p>[9.2.2]</p> <p>断熱材</p> <p>断熱材の種類</p> <p>断熱材の厚さ (mm)</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類	防火性能	備考																		
種類	防火性能	備考																				
○ 既存外壁の処置	<p>[9.2.3]</p> <p>既存外壁仕上材の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul> <p>下地の清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>欠損部の改修工法</p>																					
○ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法	<p>[9.2.4]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> <li>不陸等の下地調整</li> <li>断熱材の施工</li> <li>・ 断熱材製造所の仕様による</li> <li>外装材の施工</li> <li>・ 外装材製造所の仕様による</li> <li>通気層の有無</li> <li>・ あり ( mm) ・ なし</li> <li>外装材の外壁への取付け</li> <li>・ 図示による</li> </ul>																					

9	項目	特記事項																		
	○ 断熱・防露改修工事	<p>[9.3.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 断熱材打込み工法</li> <li>断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材</li> <li>種類</li> <li>厚さ (mm)</li> <li>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量</li> <li>※ F☆☆☆☆</li> <li>開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量</li> <li>※ F☆☆☆☆</li> </ul>																		
	○ 断熱材現場発泡工法	<p>[9.3.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 断熱材現場発泡工法</li> <li>断熱材の種類</li> <li>・ A種 1 ・ A種 1 H</li> <li>吹付け厚さ (mm)</li> <li>・ 25 ・ 30</li> <li>断熱材後張り工法</li> <li>断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材</li> <li>種類</li> <li>厚さ (mm)</li> <li>断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネル</li> <li>材質</li> <li>厚さ (mm)</li> <li>フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量</li> <li>※ F☆☆☆☆</li> <li>接着剤のホルムアルデヒド放散量</li> <li>※ F☆☆☆☆</li> <li>断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法 ( )</li> <li>断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法 ( )</li> </ul>																		
	○ 屋上緑化改修工事	<p>[9.4.2]</p> <p>材料及び地被類の種類等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 図示による</li> <li>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</li> <li>※ 図示による</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</li> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>かん水装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置する (種類 )</li> </ul> <p>既存保護層の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>新植した芝及び地被類の枯損の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 引渡しの日から 1年</li> </ul>																		
	○ 透水性アスファルト舗装改修工事	<p>[9.5.2]</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 図示による</li> </ul>																		
	○ 路床	<p>[9.5.3]</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ 再生クラッシュラン</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 凍上抑制層</td> <td>・ クラッシュラン</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 切込み砂利</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>路床安定処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安定処理の方法</li> <li>・ 置き換え工法</li> <li>・ 安定処理工法</li> </ul> <p>路床安定処理用添加材料</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通ポルトランドセメント</li> <li>・ 高炉セメントB種</li> <li>・ フライアッシュセメントB種</li> <li>・ 生石灰 ( ・ 特号 ・ 1号)</li> <li>・ 消石灰 ( ・ 特号 ・ 1号)</li> </ul> <p>試験</p> <p>路床土の支持力比 (CBR) 試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>路床締固め度の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>現場CBR試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う</li> <li>・ 行わない</li> </ul>	種別	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示による	・ 再生クラッシュラン	・ 図示による	・ 凍上抑制層	・ クラッシュラン	・	・ 切込み砂利	・	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による	・	・
	種別	材料	厚さ (mm)																	
	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示による																	
		・ 再生クラッシュラン	・ 図示による																	
	・ 凍上抑制層	・ クラッシュラン	・																	
・ 切込み砂利		・																		
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による																		
	・	・																		
○ 路盤	<p>[9.5.4]</p> <p>路盤の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>路盤材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラッシュラン</li> <li>・ 粒度調整砕石</li> <li>・ 再生クラッシュラン</li> <li>・ 再生粒度調整砕石</li> <li>・ クラッシュラン鉄鋼スラグ</li> <li>・ 粒度調整鉄鋼スラグ</li> <li>・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</li> </ul>																			
○ 舗装の構成	<p>[9.5.5]</p> <p>舗装の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> <li>舗装の平坦性</li> <li>※ 著しい不陸がないもの</li> </ul> <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う</li> <li>・ 行わない</li> </ul>																			
○ 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験	<p>[9.5.9]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う</li> <li>・ 行わない</li> </ul>																			

項目	特記事項
工事名称	福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-4
図面No	4
縮尺	S = No scale
縮尺率	A1=100%
縮尺率	A2= 71%
縮尺率	A3= 50%



名称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理			
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.2.5]		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超 [4.2.6]		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.2.6]		B-4 モルタル面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.3.6]		B-5 モルタル面樹脂部樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.3.6]					
改修前																	
改修後																	
工程	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 ・部分) ②水洗い (15Mpa程度) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 ・部分) ②水洗い (15Mpa程度) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①サンダーケレン ②水洗い (15Mpa程度) ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15Mpa程度) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15Mpa程度) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①サンダーケレン ②水洗い (15Mpa程度) ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①ひび割れ部モルタルカッター切 ②モルタル療法 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)					
	校舎設計数量: 4.1 m <sup>2</sup> 倉庫設計数量: 0.3 m <sup>2</sup>	校舎設計数量: 7.9 m <sup>2</sup> 倉庫設計数量: 2.6 m <sup>2</sup>		設計数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm ( 0.0 ) m ひび割れ幅 0.5~1.0mm ( 0.0 ) m ( ) 内は単動ひび割れ数量を示す		校舎設計数量: 0.6 m <sup>2</sup> 倉庫設計数量: 0.0 m <sup>2</sup>		設計数量: 0.0 m <sup>2</sup>		設計数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm ( 0.0 ) m ひび割れ幅 0.5~1.0mm ( 0.0 ) m ( ) 内は単動ひび割れ数量を示す		設計数量: 0.0 m <sup>2</sup>					
名称	B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理								
記号・仕様	B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm		C-1 打放し面鋼鉄筋部処理		C-2 モルタル面鋼鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり								
改修前																	
改修後																	
工程	①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15Mpa程度) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15Mpa程度) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①鋼鉄筋周辺のはつり ②水洗い (15Mpa程度) ③水洗い (15Mpa程度) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①カッター縁切り ②錆落とし ③水洗い (15Mpa程度) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③水洗い (15Mpa程度) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)								
	※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA-2工法に含む。								
	校舎設計数量: 1.2 m <sup>2</sup> 倉庫設計数量: 0.1 m <sup>2</sup>		設計数量: 0.0 m <sup>2</sup>		校舎設計数量: 0.9 m <sup>2</sup> 倉庫設計数量: 0.1 m <sup>2</sup>		校舎設計数量: 1.7 m <sup>2</sup> 倉庫設計数量: 0.6 m <sup>2</sup>		校舎設計数量: 0.8 m <sup>2</sup> 倉庫設計数量: 0.2 m <sup>2</sup>								
名称	D 浮き部処理				D 浮き部処理				D 浮き部処理								
記号・仕様	D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.3.11]		D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.4.9]		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.3.12]		D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.4.10]		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.3.13]				D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.4.11]				
改修前																	
改修後																	
工程	①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦水洗い (15Mpa程度) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①一般部標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③*ワザンタリ注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④*ワザンタリ挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [*ワザンタリ] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所		⑥注入部穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧*ワザンタリ注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [*ワザンタリ] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩*ワザンタリ ⑪水洗い (15Mpa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①一般部標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)						
	校舎設計数量: ①一般部: 15.4 m <sup>2</sup> [9.4面] 0.0 m <sup>2</sup> ②指定部: 6.0 m <sup>2</sup> ③峽幅部: 2.9 m		校舎設計数量: ①一般部: 3.6 m <sup>2</sup> [9.4面] 0.0 m <sup>2</sup> ②指定部: 1.4 m <sup>2</sup> ③峽幅部: 0.7 m		設計数量: ①一般部: 0.0 m <sup>2</sup> ②指定部: 0.0 m <sup>2</sup> ③峽幅部: 0.0 m		設計数量: ①一般部: 0.0 m <sup>2</sup> ②指定部: 0.0 m <sup>2</sup> ③峽幅部: 0.0 m		設計数量: ①一般部: 0.0 m <sup>2</sup> ②指定部: 0.0 m <sup>2</sup> ③峽幅部: 0.0 m								
名称	D 浮き部処理				D 浮き部処理				D 浮き部処理								
記号・仕様	D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.3.13]		D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.4.11]		D-5 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.3.14]		D-5' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.4.12]		D-5 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.3.14]				D-5' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.4.12]				
改修前																	
改修後																	
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③*ワザンタリ注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④*ワザンタリ挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [*ワザンタリ] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所		⑥注入部穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧*ワザンタリ注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [*ワザンタリ] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩*ワザンタリ ⑪水洗い (15Mpa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①一般部標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)		①穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦水洗い (15Mpa程度) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)		①一般部標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)						
	校舎設計数量: ①一般部: 0.0 m <sup>2</sup> ②指定部: 0.0 m <sup>2</sup> ③峽幅部: 0.0 m		校舎設計数量: ①一般部: 0.0 m <sup>2</sup> ②指定部: 0.0 m <sup>2</sup> ③峽幅部: 0.0 m		設計数量: ①一般部: 0.0 m <sup>2</sup> ②指定部: 0.0 m <sup>2</sup> ③峽幅部: 0.0 m		設計数量: ①一般部: 0.0 m <sup>2</sup> ②指定部: 0.0 m <sup>2</sup> ③峽幅部: 0.0 m		設計数量: ①一般部: 0.0 m <sup>2</sup> ②指定部: 0.0 m <sup>2</sup> ③峽幅部: 0.0 m								

工事名称  
福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事

図面名称  
建築改修工事特記仕様書 No-5

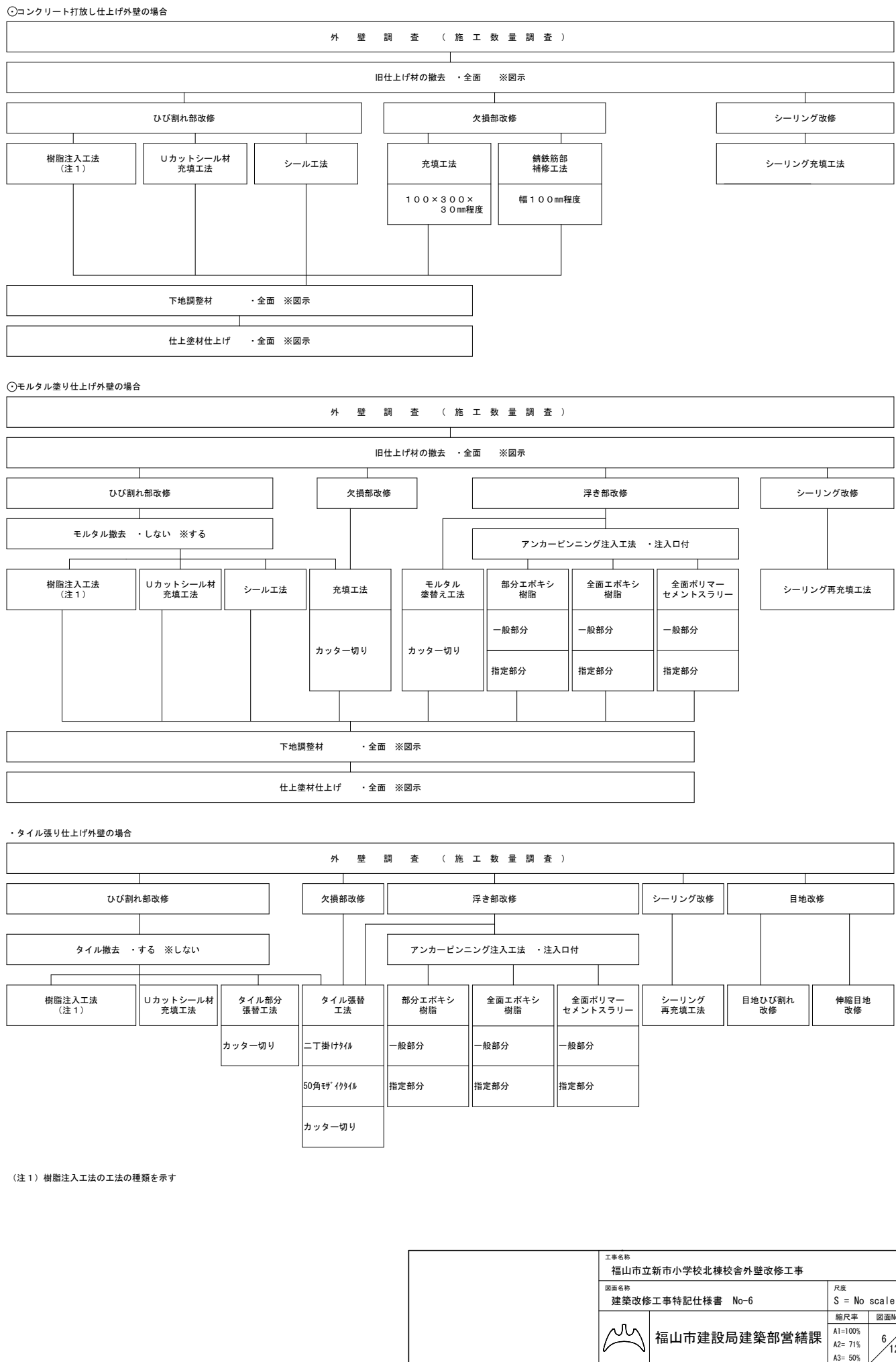
縮尺率  
A1=100%  
A2=71%  
A3=50%

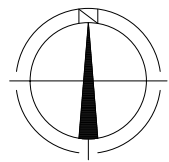
図面No  
5/12

福山市建設局建築部営繕課

<p>名称 D 浮き部処理</p> <p>記号・仕様 D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.3.15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.4.13]</p>		<p>改修前 改修後</p>		<p>①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分) ③破損部 (幅200mm以下で層状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>●注入口付アンカー固定部 ○注入口</p>									
<p>工程</p> <p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い (15MPa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※D-6'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分： 0.0 m<sup>2</sup> ②指定部分： 0.0 m<sup>2</sup> ③破損部： 0.0 m</p>		<p>名称 D 浮き部処理</p> <p>記号・仕様 D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.3.16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.4.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ</p>		<p>改修前 改修後</p>		<p>D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小ロタイル以上) [4.4.15]</p>							
<p>工程</p> <p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [※'ワ-セト'樹脂パテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [※'ワ-セト'樹脂パテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い (15MPa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※D-7'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分： 0.0 m<sup>2</sup> ②指定部分： 0.0 m<sup>2</sup> ③破損部： 0.0 m</p>		<p>工程</p> <p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p> <p>設計数量 0.0 m<sup>2</sup></p>											
<p>名称 E 欠損部処理</p> <p>記号・仕様 E-1 打放し面充填工法 [4.2.6] E-2 打放し面欠損部処理 [4.2.3] E-3 モルタル面欠損部処理 [4.3.3]</p>		<p>改修前 改修後</p>		<p>工程</p> <p>①欠損部はつり等での整形 ②水洗い (15MPa程度) ③欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セト'樹脂パテ・※'ワ-セト'樹脂パテ] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>校舎設計数量： 0.0 m<sup>2</sup> 渡り廊下設計数量： 0.0 m<sup>2</sup></p>		<p>工程</p> <p>①欠損部、錆跡周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③水洗い (15MPa程度) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セト'樹脂パテ・※'ワ-セト'樹脂パテ] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む</p> <p>校舎設計数量： 0.3 m<sup>2</sup> 倉庫設計数量： 0.0 m<sup>2</sup></p>		<p>工程</p> <p>①カッター縁切り (C-3) ②欠損部はつり等での整形 ③水洗い (15MPa程度) ④欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セト'樹脂パテ・※'ワ-セト'樹脂パテ] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む</p> <p>校舎設計数量： 0.5 m<sup>2</sup> 倉庫設計数量： 0.2 m<sup>2</sup></p>					
<p>名称 F 外壁複合改修工法</p> <p>記号・仕様 F 外壁複合改修工法</p>		<p>改修前 改修後</p> <p>モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。</p>		<p>校舎設計数量</p> <table border="1"> <tr><td>ネット張り</td><td>74.8 m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>水切</td><td>76.6 m</td></tr> </table> <p>倉庫設計数量</p> <table border="1"> <tr><td>ネット張り</td><td>18.8 m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>水切</td><td>24.8 m</td></tr> </table>		ネット張り	74.8 m <sup>2</sup>	水切	76.6 m	ネット張り	18.8 m <sup>2</sup>	水切	24.8 m
ネット張り	74.8 m <sup>2</sup>												
水切	76.6 m												
ネット張り	18.8 m <sup>2</sup>												
水切	24.8 m												
<p>工程</p> <p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付 (L-30×15×2.0 ステンレスビス止④50) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p>													

外壁改修フロー図





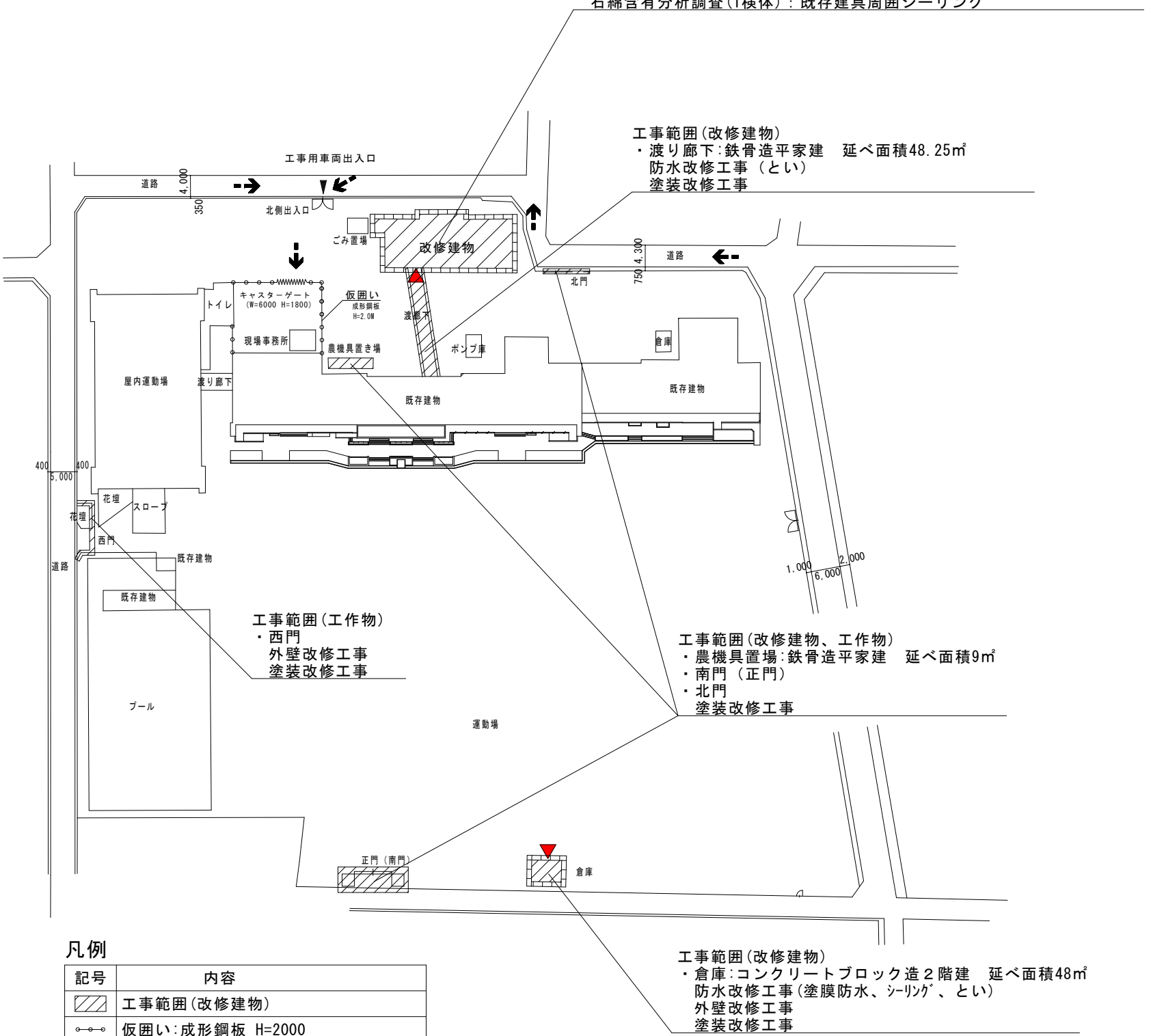
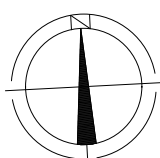
工事場所  
福山市新市町大字新市852番地



敷地案内図 NoScale

施工条件

- ① 工事車両出入口及び機器・資材搬入口は北側出入口とする。
- ② 仮囲いに設ける工事車両出入口はキャスターゲート程度とし、通行時以外は常時閉鎖する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 既存施設を汚損させないよう養生等の対策を講ずること。既存部分を汚損した場合は速やかに監督員へ報告し、承諾を受けた後に復旧を行う。
- ⑤ 児童の移動が集中する時間帯（登下校時等）は工事車両及び資材の搬出入を避ける。
- ⑥ 工事車両の通行部分は、工事中及び工事完成時に地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設計画は、発注者の考え方を示したものである。実際の施工においては、事前に学校関係者及び監督員と協議を行うとともに詳細な現地調査・搬出入路等の検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設足場（先行足場、階段共）には、防護シートを張り埃等の飛散を防ぐ。
- ⑨ 工事関係者以外の者を工事エリアに侵入させないために、仮設足場1段目には金網等(H=1,800程度)を設置し、施錠付きの出入り口を設ける。
- ⑩ 昇降所等の建物出入口には、落下防止措置を講ずる。
- ⑪ 仮設足場解体後は、主任技術者が現地確認を行い、必要に応じて美装及び現状復旧を行う。
- ⑫ エアコンを使用できるように室外機を養生する。
- ⑬ 外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りする。



工事範囲(改修建物)  
北棟校舎:鉄筋コンクリート造2階建 延べ面積440㎡  
防水改修工事(合成高分子系ルーフingシート防水、塗膜防水、シーリング、とい)  
外壁改修工事  
塗装改修工事  
石綿含有分析調査(1検体):既存建具周囲シーリング

工事範囲(改修建物)  
・渡り廊下:鉄骨造平家建 延べ面積48.25㎡  
防水改修工事(とい)  
塗装改修工事

工事範囲(工作物)  
・西門  
外壁改修工事  
塗装改修工事

工事範囲(改修建物、工作物)  
・農機具置場:鉄骨造平家建 延べ面積9㎡  
・南門(正門)  
・北門  
塗装改修工事

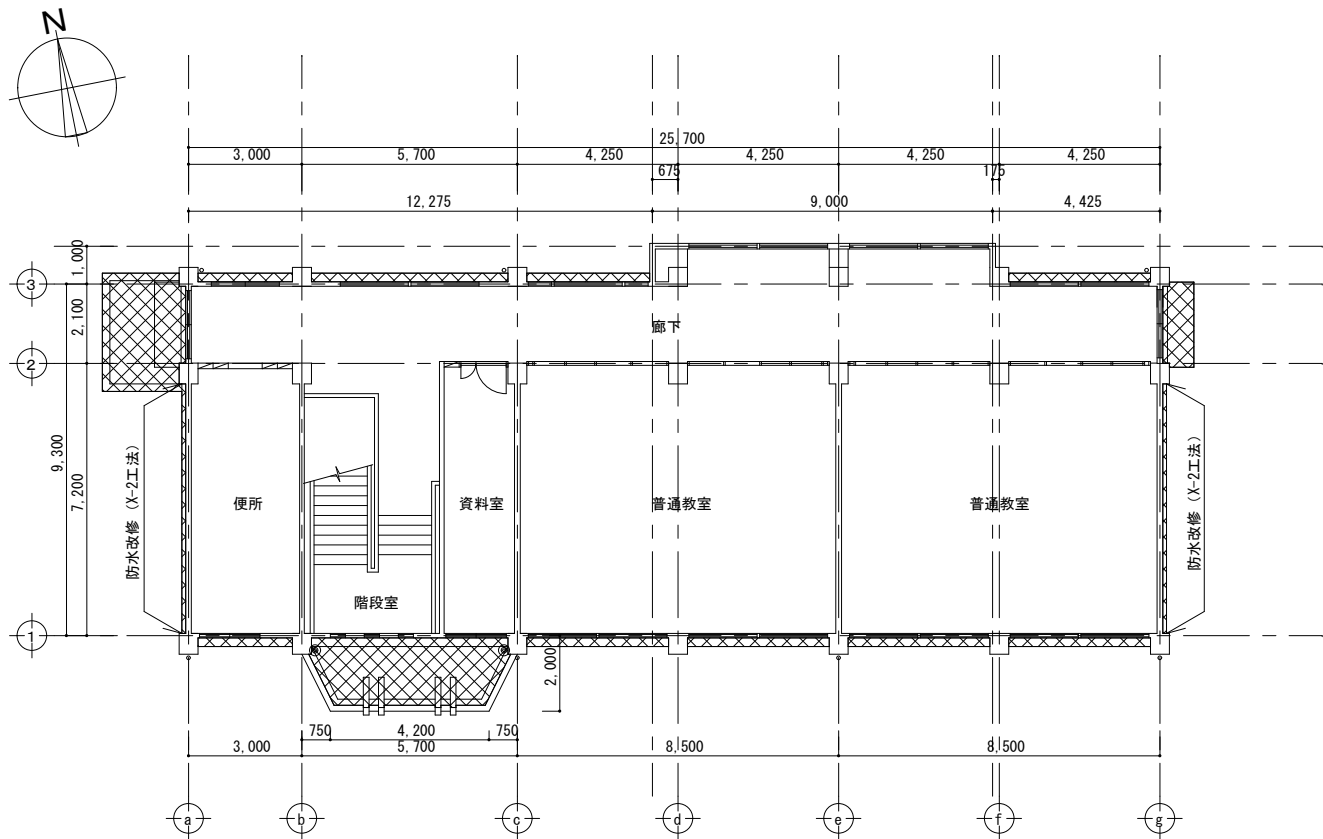
工事範囲(改修建物)  
・倉庫:コンクリートブロック造2階建 延べ面積48㎡  
防水改修工事(塗膜防水、シーリング、とい)  
外壁改修工事  
塗装改修工事

凡例

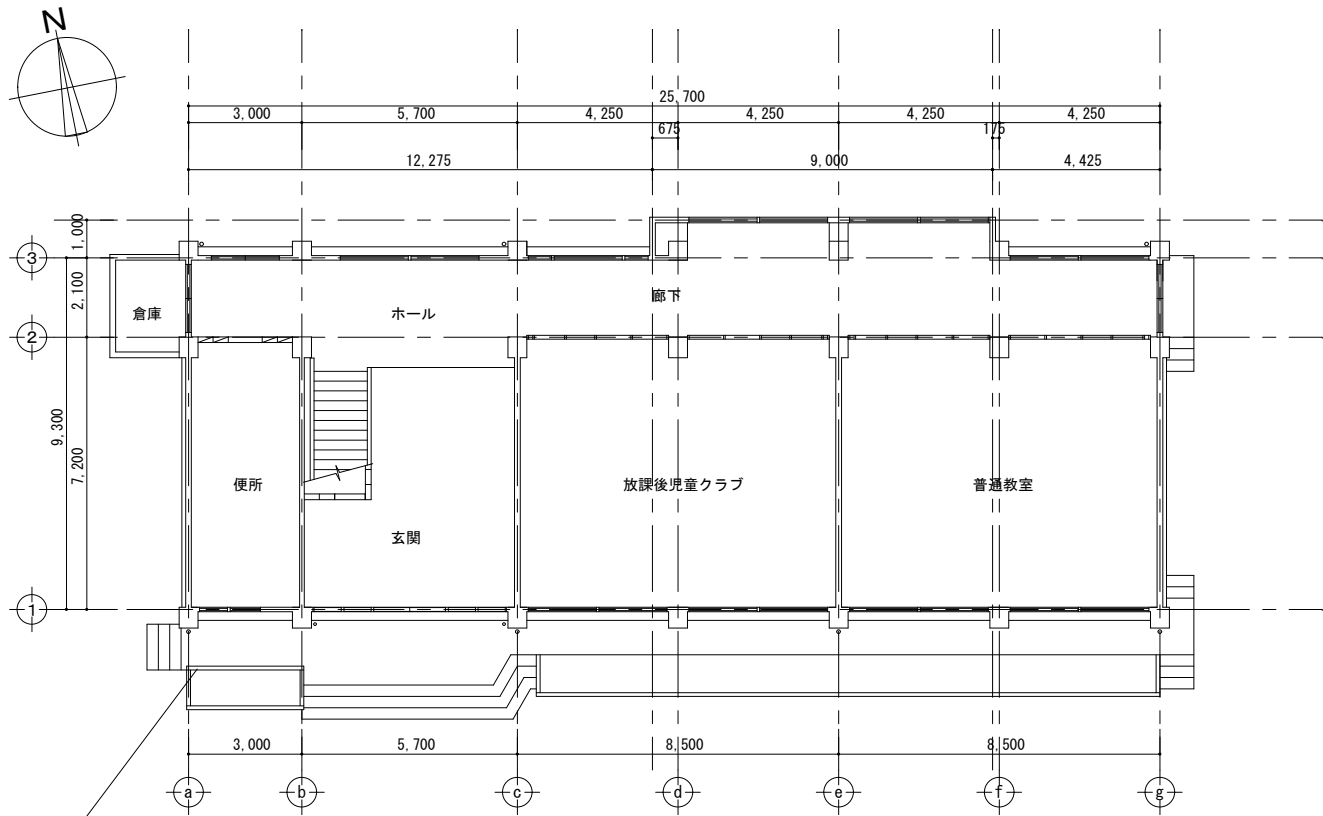
記号	内容
	工事範囲(改修建物)
	仮囲い:成形鋼板 H=2000
	キャスターゲート W=6000 H=1800
	工事車両進出路
	仮設足場
	児童出入口(足場部出入口養生)

配置図 S=1/500

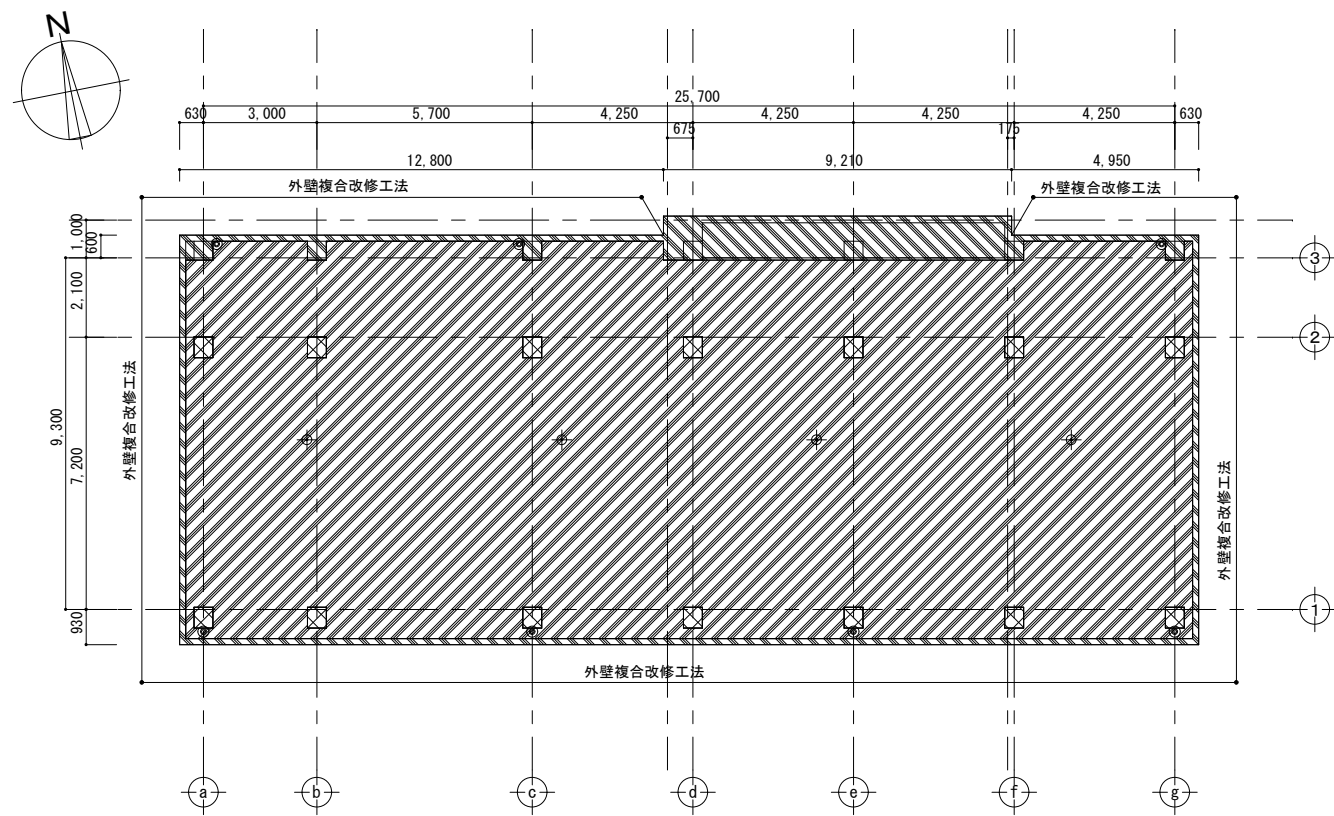
工事名称	福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事		
図面名称	敷地案内図・配置図	尺度	S = 1/500
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No	
	A1=100%	7	12
	A2= 71%		



2階平面図 S=1/100



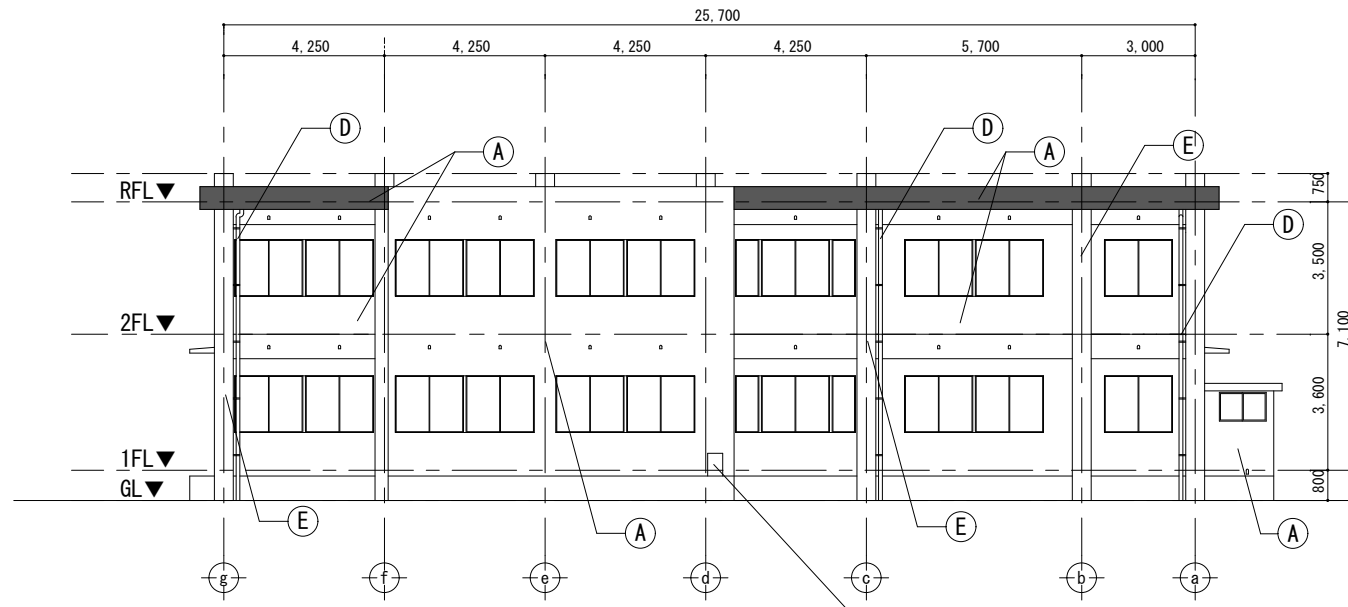
1階平面図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100

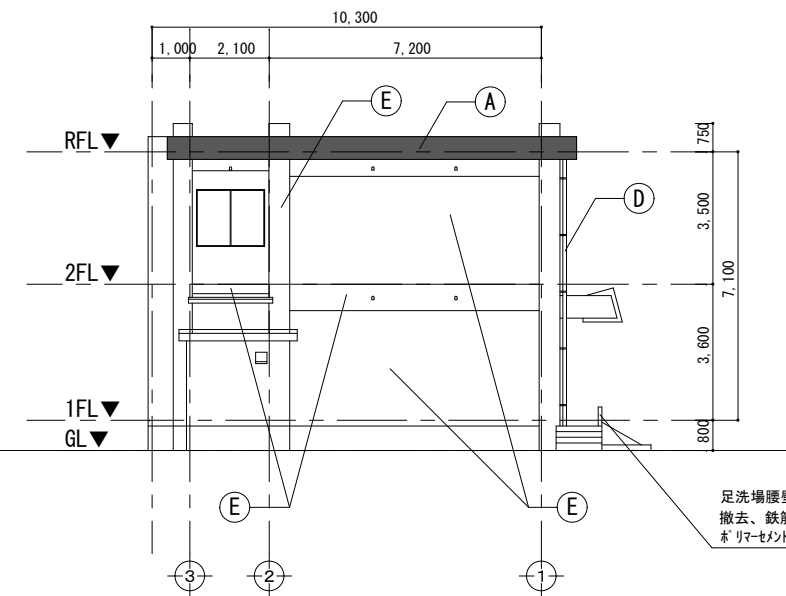
凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り:水洗い、下地調整(カック処理・目地埋め共)の上 ケルコン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部:100mm程度巻き上げ
改修	◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設 シート防水
改修	平場:水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系 $\mu$ -フィン $\mu$ シート張り (塩化ビニル樹脂系 $t=1.5$ S-M2機械的固定工法)
改修	⊕ 箇所: SUS脱気筒取付 ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設 シート防水
改修	立上り・溝部: 既存防水層撤去、ケルコン清掃、水洗い、下地調 整(カック処理共)の上 合成高分子系 $\mu$ -フィン $\mu$ シート 張り(塩化ビニル樹脂系 $t=2.0$ S-F2接着工法) 端部押え(笠木・立上り部):7M $\mu$ アング $\mu$ 45 $\times$ 65取付(シーリング 仕舞)
改修	○ 既存 改修 VP $\mu$ 径 $\phi$ 100 既存撤去(金具共)の上 新VP $\mu$ 径 $\phi$ 100取付(SUS金具共) 【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】
改修	外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm $^2$ ]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及び $\mu$ -カ基準を満たす ものとする。

工事名称 福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事		尺度 S = 100
図面名称 1階・2階・R階平面図		縮尺率 図面No
福山市建設局建築部営繕課		A1=100% A2= 71% A3= 50%
		8 / 12



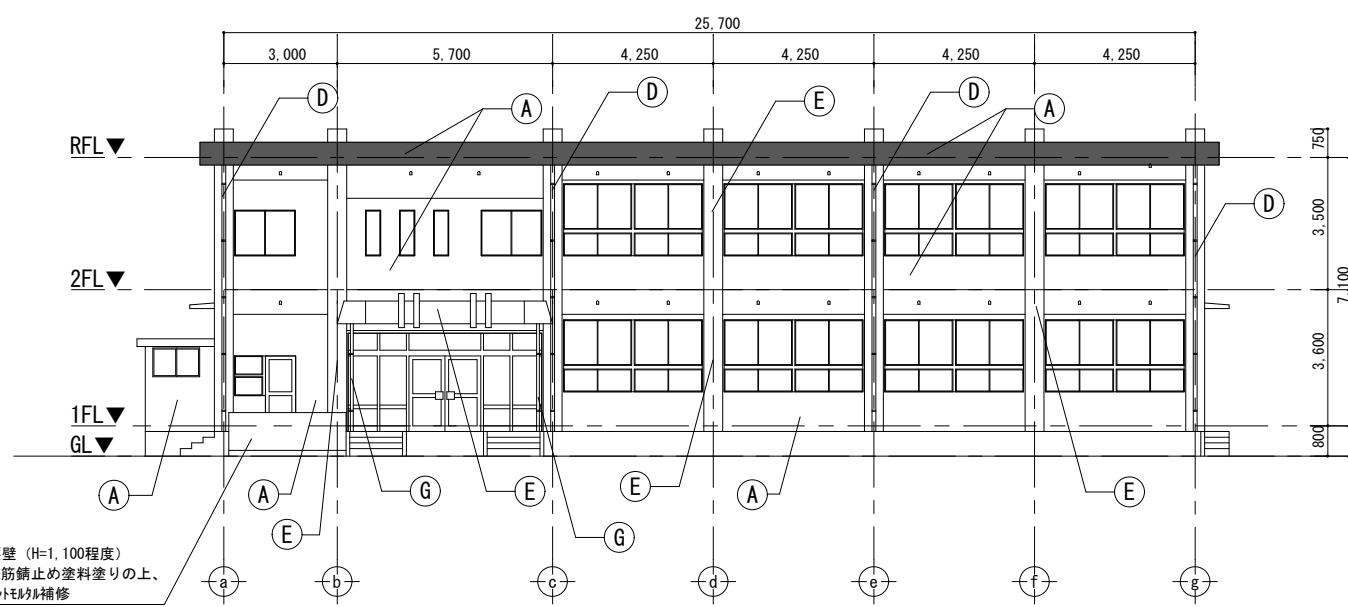
北立面図 S=1/100

鋼製建具：下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り (DP)



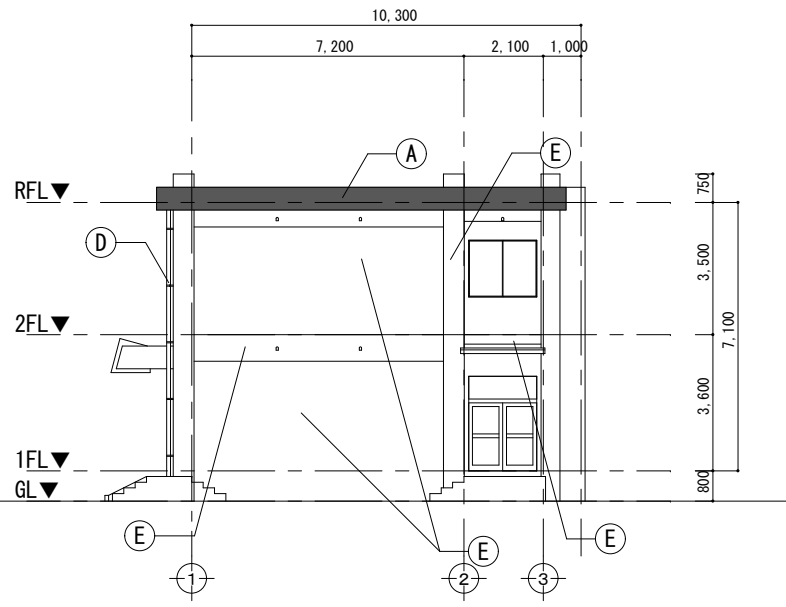
西立面図 S=1/100

足洗場腰壁 (H=1.100程度)  
撤去、鉄筋錆止め塗料塗りの上、  
ホリマセメントモルタル補修



南立面図 S=1/100

足洗場腰壁 (H=1.100程度)  
撤去、鉄筋錆止め塗料塗りの上、  
ホリマセメントモルタル補修

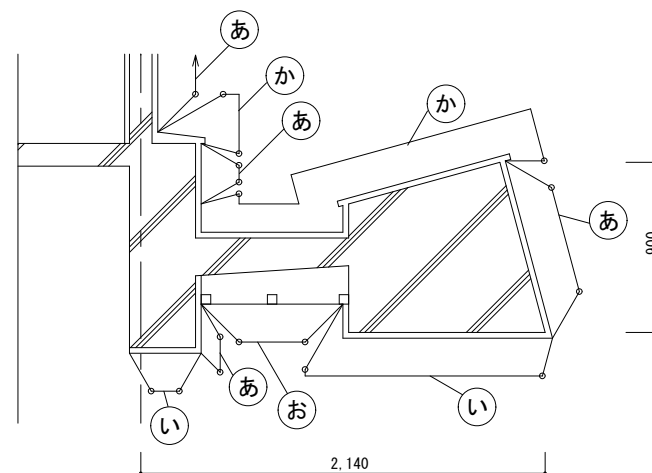


東立面図 S=1/100

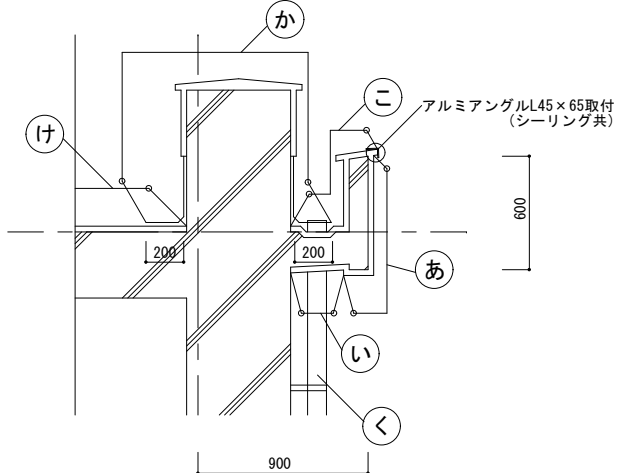
凡例・共通事項

凡例	仕上
(A)	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 改修 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整 (C-1)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整 (C-1)の上 外装薄塗材E塗り 部:外壁複合改修工法 (F工法) 施工範囲
(B)	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装 改修 耐震CON壁:清掃の上 複層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性 塗料塗り (DP)
(C)	既存 外壁石綿含有部:アクリルリシン吹付 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整 (C-2)の上 複層塗材E塗り 改修 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整 (C-2)の上 外装薄塗材E塗り
(D)	既存 縦樋:VP φ100 改修 既存撤去 (金具共)の上 カ-VP φ100取付 (SUS金具共) 柱型:杉板コンパネ打放し シリコン吹付
(E)	既存 外壁:杉板コンパネ打放し シリコン吹付 梁型:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 改修 柱型、外壁、梁型:外壁劣化改修、水洗い、 下地調整 (C-1)の上、複層塗材E塗り
(F)	既存 鉄部:塗装仕上げ 改修 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り (DP)
(G)	既存 縦樋:VP φ75 改修 既存撤去 (金具共)の上 カ-VP φ75取付 (SUS金具共)
(H)	既存 軒樋:VP W130 改修 既存撤去 (金具共)の上 カ-VP W130取付 (SUS金具共)
(I)	既存 既存仕上:石、レンガ、モルタル金コネ押え 改修 水洗い

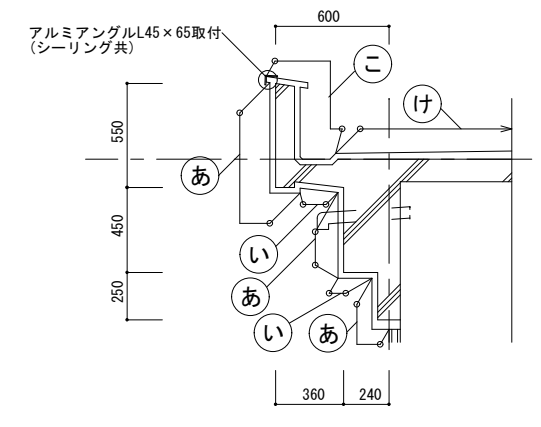
・建具周囲・水切端部:変成シリコン系「シリカ」(MS-2) 15×10打替  
・既存鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り (DP)  
[対象]設備配管・換気口・カザ-カバー・電気BOX・建具 (両面・  
小口・枠共)・その他監督員が指示するもの  
・基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と  
思われる場合は監督員と協議する。



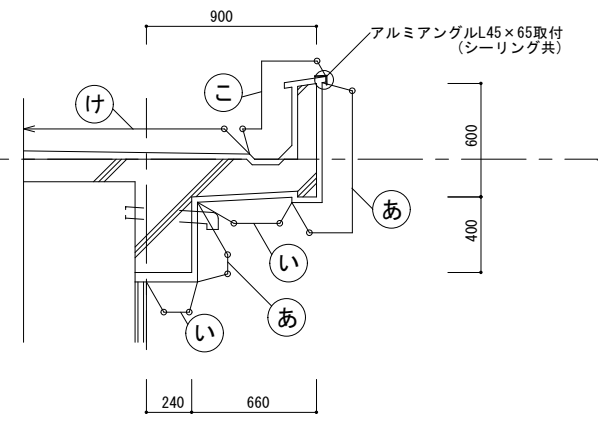
玄関大庇詳細図 S=1/20



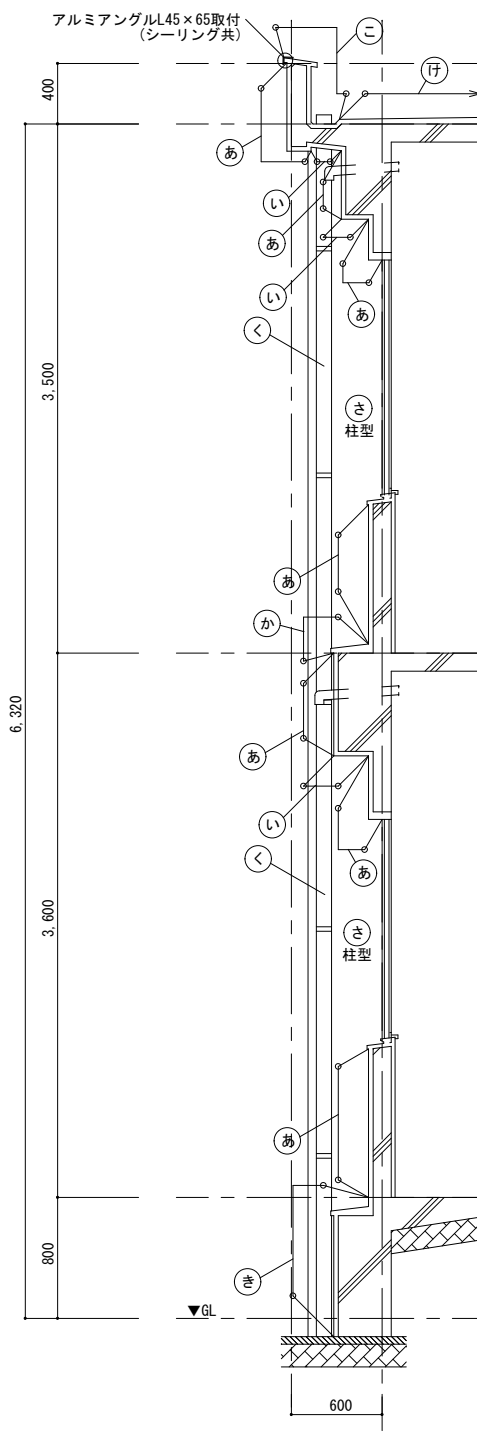
屋上柱頭部詳細図 S=1/20



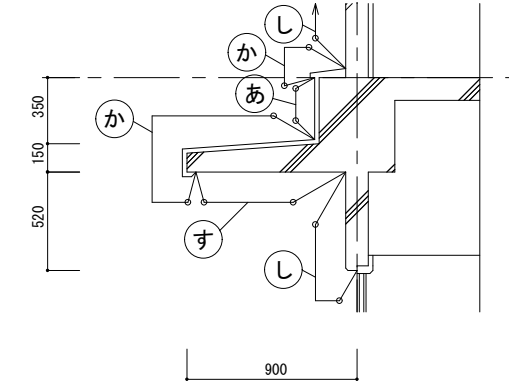
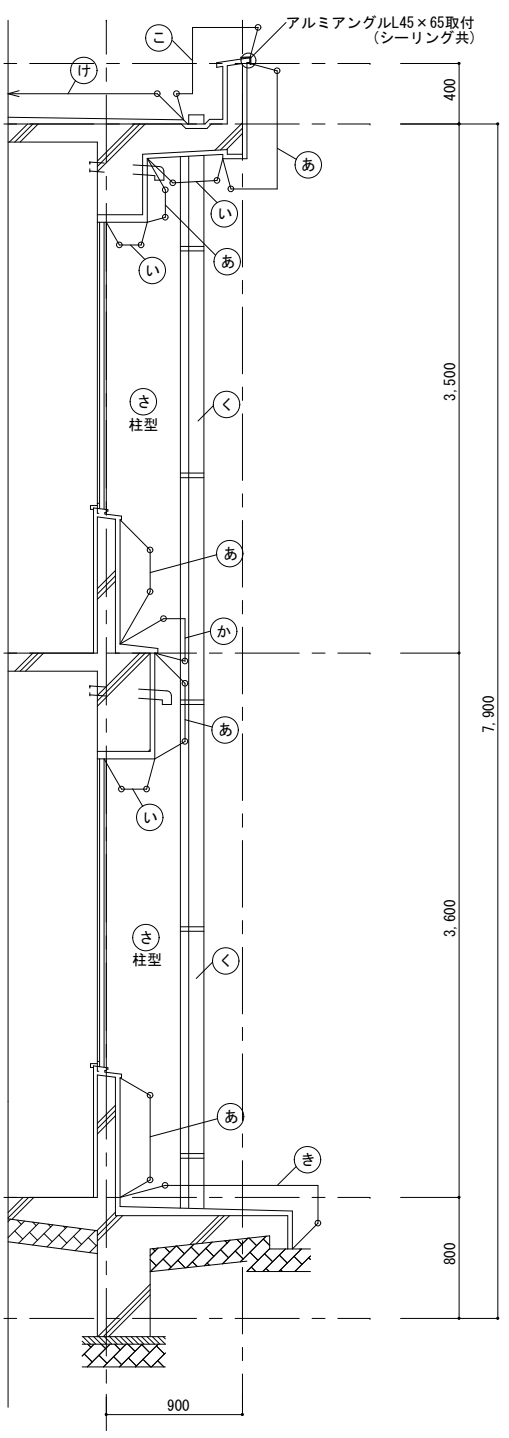
北側大庇詳細図 S=1/20



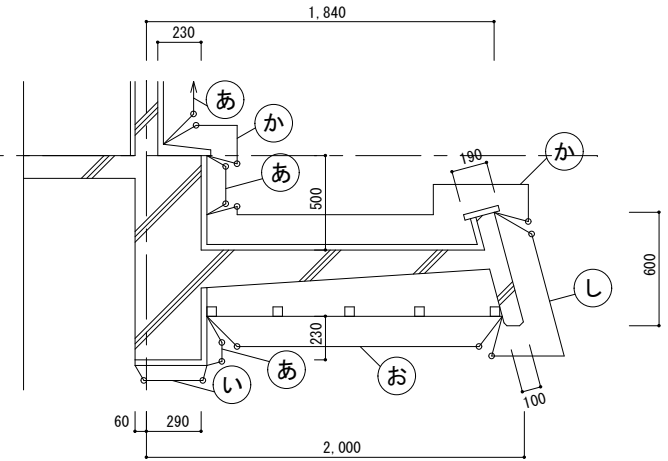
南側大庇詳細図 S=1/20



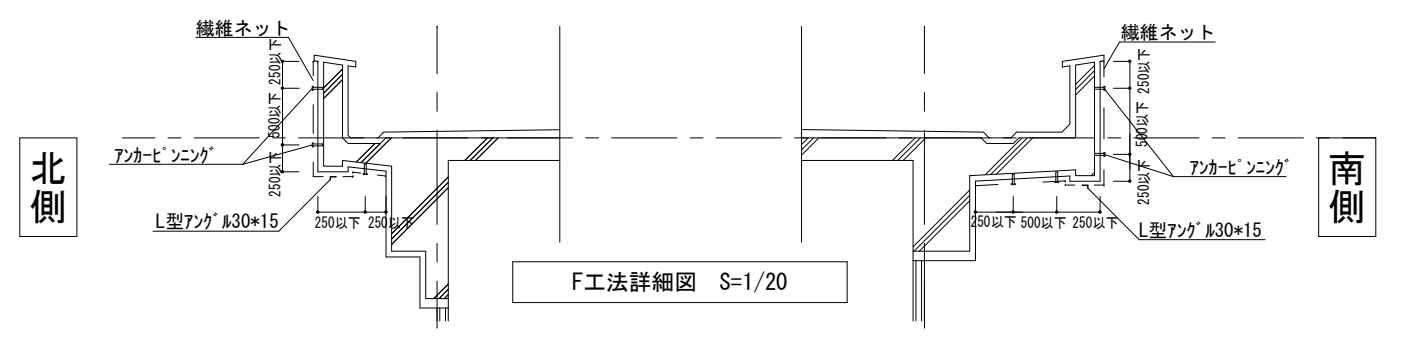
矩計図 S=1/25



東・西側小庇詳細図 S=1/20



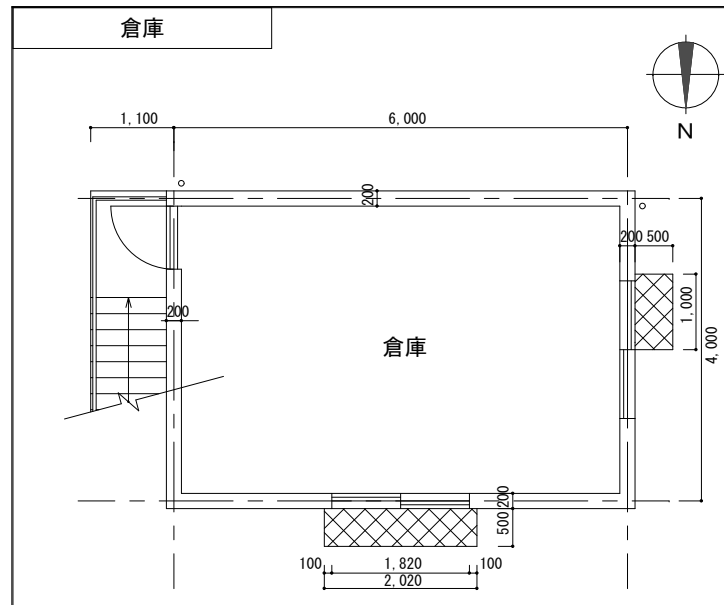
南側玄関大庇詳細図 S=1/20



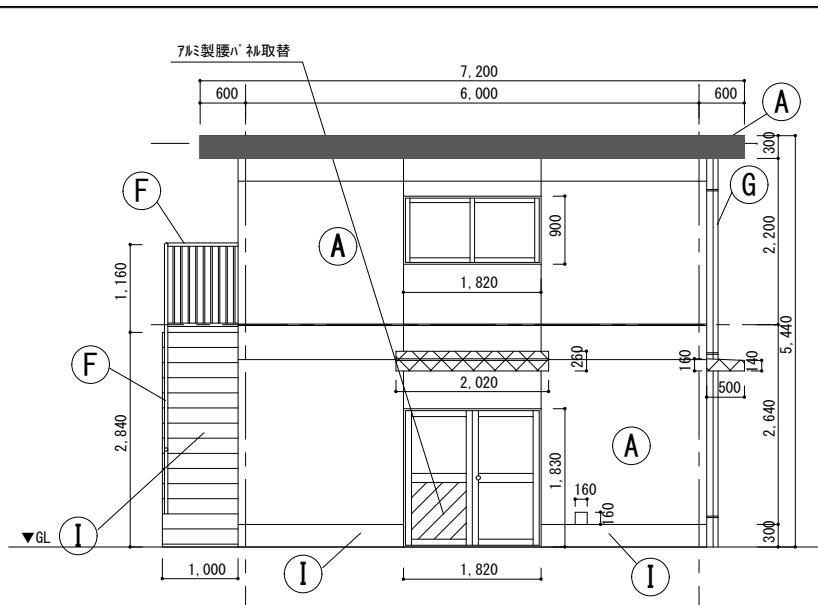
F工法詳細図 S=1/20

符号	仕上げ	符号	仕上げ
あ	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 改修 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り	き	既存 幅木:モルタル金コテ押え 改修 水洗い
い	既存 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 改修 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り	く	既存 縦樋: VP φ100 改修 既存撤去(金具共)の上 か-VPφ100取付(SUS金具共)
う	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装 改修 耐震CON壁:清掃の上 複層塗材E塗り(上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)	け	既存 シート防水(平場) 改修 水洗い、既存防水層損傷・剝離・浮き部補修の上、シート防水(S-M2 t=1.5)
え	既存 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 改修 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り	こ	既存 シート防水(立上り・清部) 改修 既存防水層撤去、ケレン・清掃、水洗い、下地調整の上 シート防水(S-F2 t=2.0)
お	既存 鉄部:塗装仕上げ 改修 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)	さ	既存 柱型:杉板コンパネ打放し シリコン吹付 改修 柱型:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上、複層塗材E塗り
か	既存 防水モルタル塗り 改修 平場・立上り:水洗い、下地調整の上 珪酸系塗膜防水(X-2)	し	既存 外壁:杉板コンパネ打放し シリコン吹付 改修 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上、複層塗材E塗り
		す	既存 軒裏:杉板コンパネ打放し シリコン吹付 改修 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り

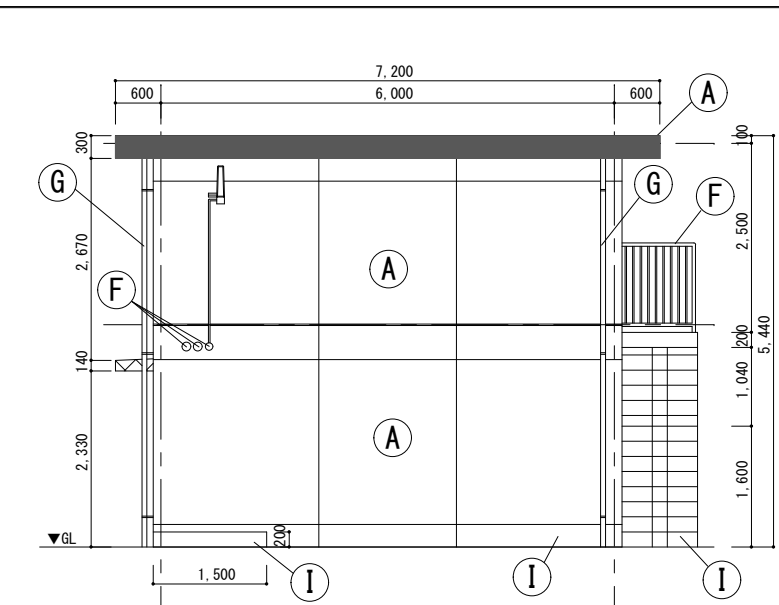
※水洗いの水圧力15MPa [N/mm<sup>2</sup>]程度とする。



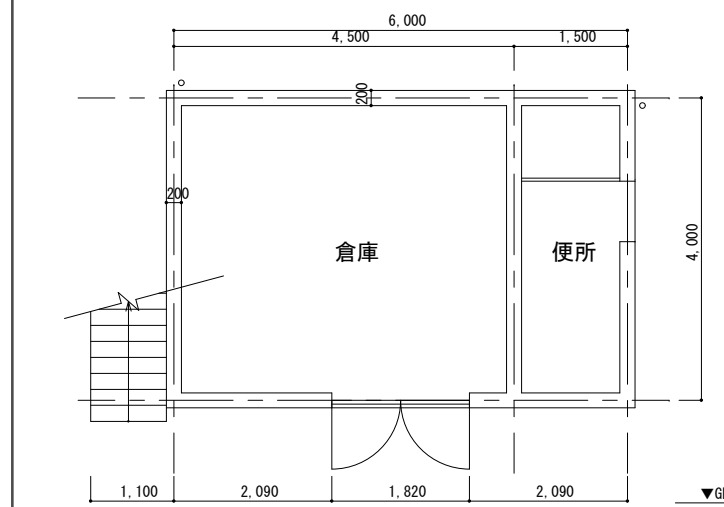
2階平面図 S=1/50



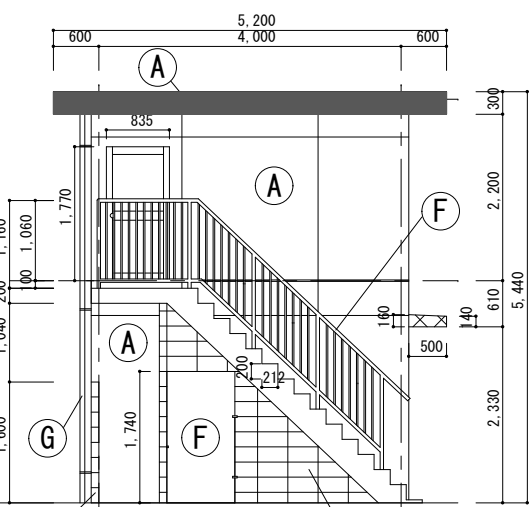
北立面図 S=1/50



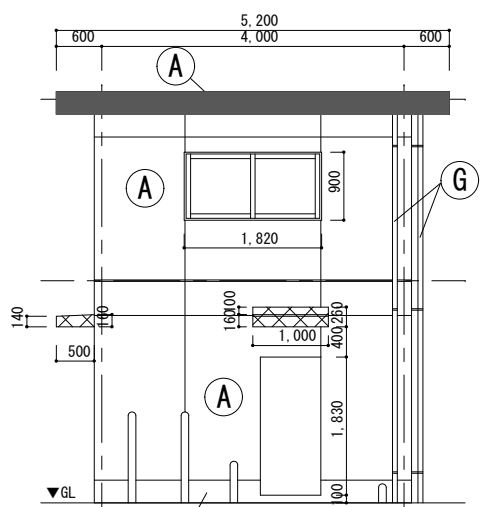
南立面図 S=1/50



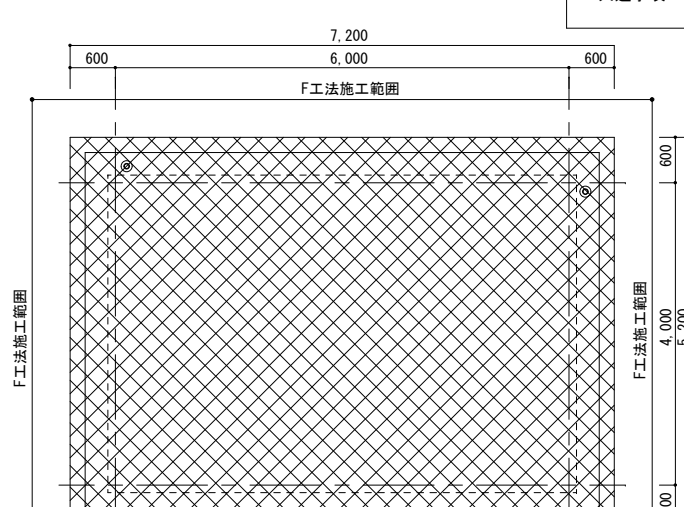
1階平面図 S=1/50



東立面図 S=1/50

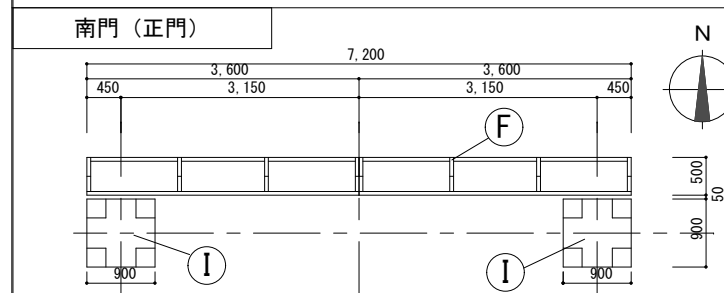


西立面図 S=1/50

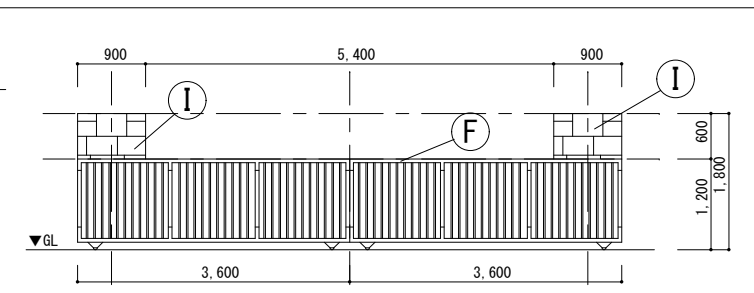


屋根伏図 S=1/50

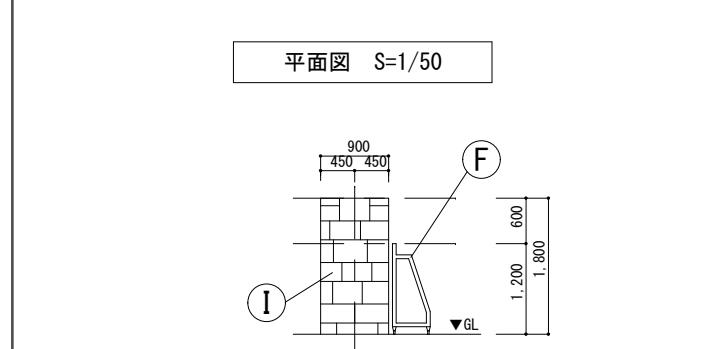
凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整(ケツク処理・目地埋め共)の上 ルカコ <sup>®</sup> 系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部: 100mm程度巻き上げ
既存	シート防水
改修	平場: 水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系 <sup>®</sup> フイックシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
既存	シート防水
改修	立上り・溝部: 既存防水層撤去、ケレン・清掃、水洗い、下地調 整(ケツク処理共)の上 合成高分子系 <sup>®</sup> フイックシート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法)
既存	VP <sup>®</sup> 縦樋φ100
改修	既存撤去(金具共)の上 ｶﾞｰVP <sup>®</sup> φ100取付(SUS金具共)
改修	【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm <sup>2</sup> ]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及び <sup>®</sup> ｶ-基準を満たす ものとする。



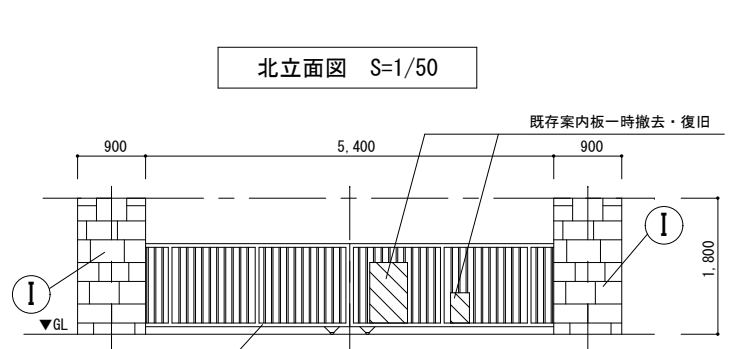
平面図 S=1/50



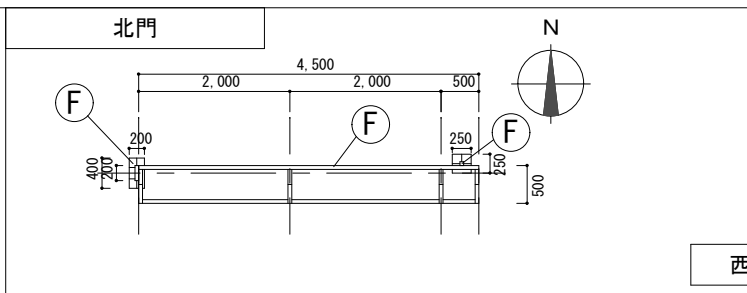
北立面図 S=1/50



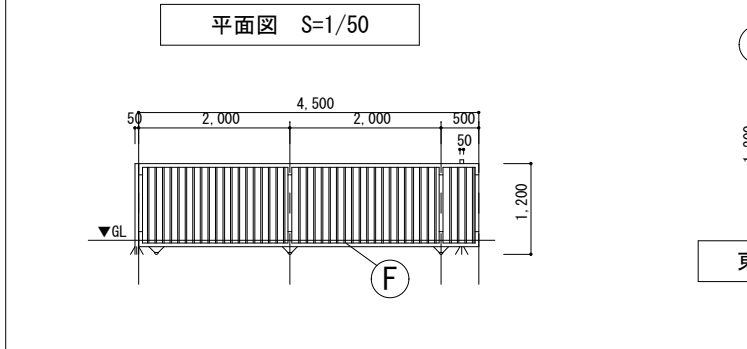
東立面図 S=1/50



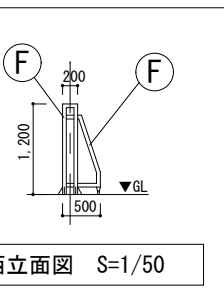
南立面図 S=1/50



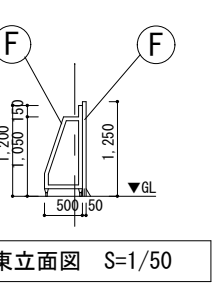
平面図 S=1/50



南立面図 S=1/50



西立面図 S=1/50

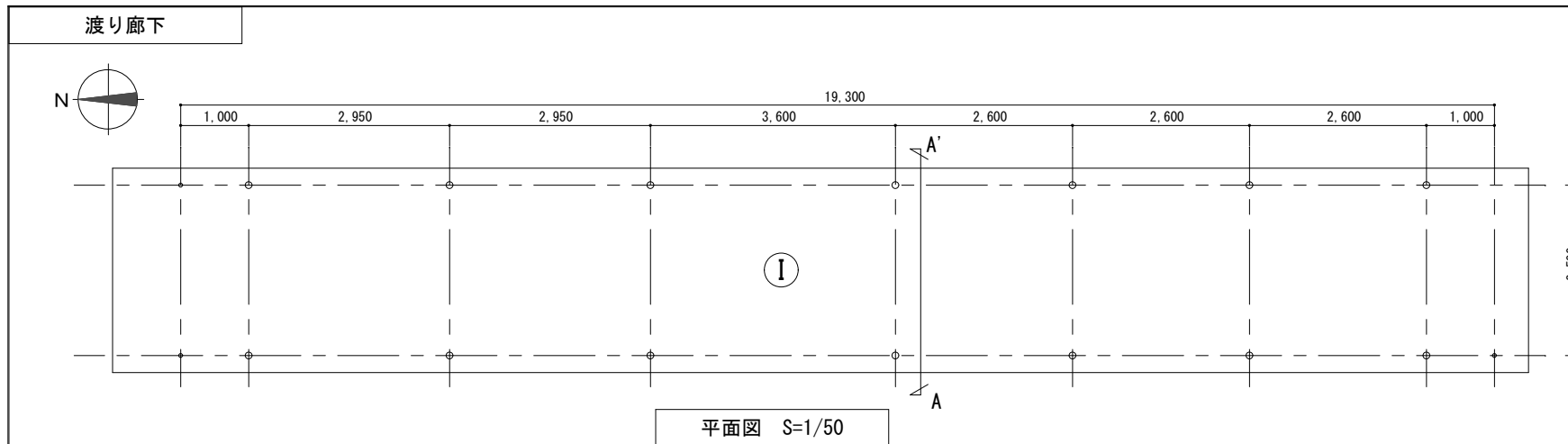


東立面図 S=1/50

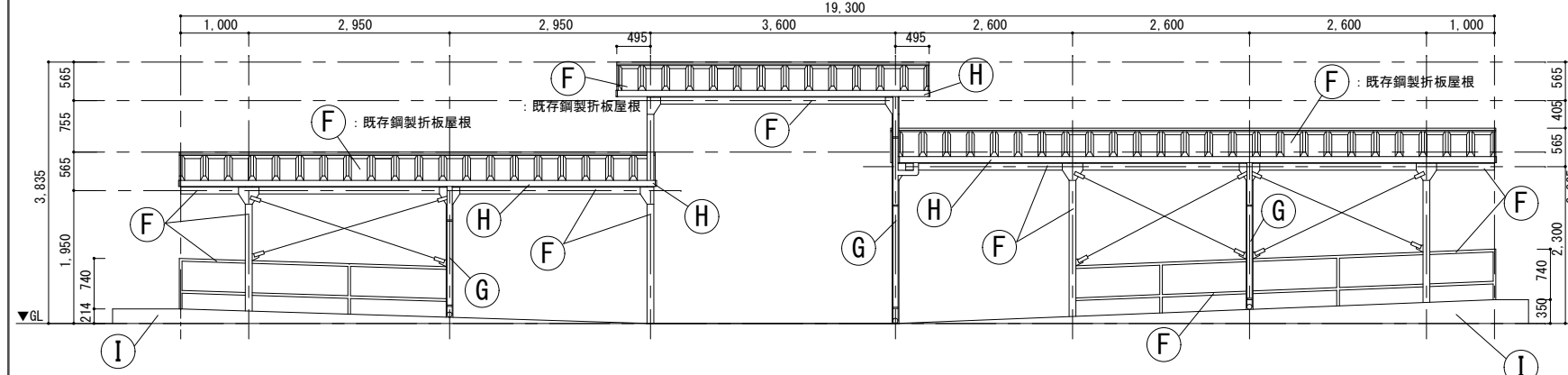
凡例	仕上げ
既存	外壁: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付
改修	軒裏: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 外壁: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り
改修	軒裏: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り
改修	部: 外壁複合改修工法(F工法)施工範囲
既存	耐震CON壁: 外装薄塗材E吹付
改修	耐震鉄部: DP塗装 耐震CON壁: 清掃の上 複層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ)
改修	耐震鉄部: 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性 塗料塗り(DP)
既存	外壁石綿含有部: アクリルリシン吹付
改修	外壁: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り
改修	軒裏: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り
既存	縦樋: VP <sup>®</sup> φ100
改修	既存撤去(金具共)の上 ｶﾞｰVP <sup>®</sup> φ100取付(SUS金具共)
既存	柱型: 杉板コンパネ打放し シリコン吹付
改修	外壁: 杉板コンパネ打放し シリコン吹付 柱型: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付
改修	柱型: 外壁、梁型: 外壁劣化改修、水洗い、 下地調整(C-1)の上、複層塗材E塗り
既存	鉄部: 塗装仕上げ
改修	下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)
既存	縦樋: VP <sup>®</sup> φ75
改修	既存撤去(金具共)の上 ｶﾞｰVP <sup>®</sup> φ75取付(SUS金具共)
既存	縦樋: VP W130
改修	既存撤去(金具共)の上 ｶﾞｰVPW130取付(SUS金具共)
既存	既存仕上: 石、レンガ、モルタル金コテ押え
改修	水洗い

・建具周囲・水切端部: 変成シリコン系<sup>®</sup>シリカ(MS-2)15×10打替  
・既存鉄部: 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)  
【対象】設備配管・換気口・ｶﾞｰｶﾞｰｶﾞｰ 電気BOX・建具(両面・  
小口・枠共)・その他監督員が指示するもの  
・基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と  
思われる場合は監督員と協議する。

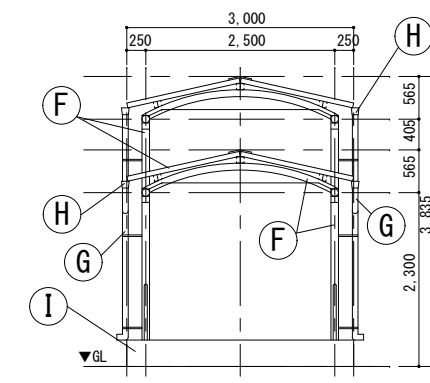
工事名称	福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事
図面名称	附属棟(倉庫、南門(正門)、北門)
図面No	11/12
縮尺率	A1=100% A2=71% A3=50%
図面No	11/12



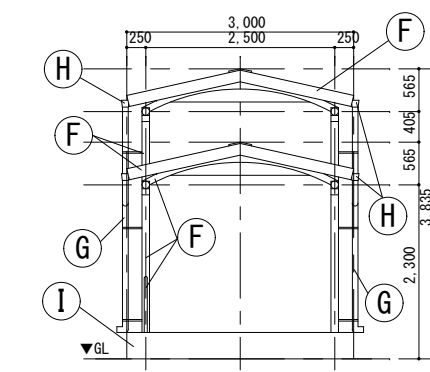
平面図 S=1/50



東・西立面図 S=1/50

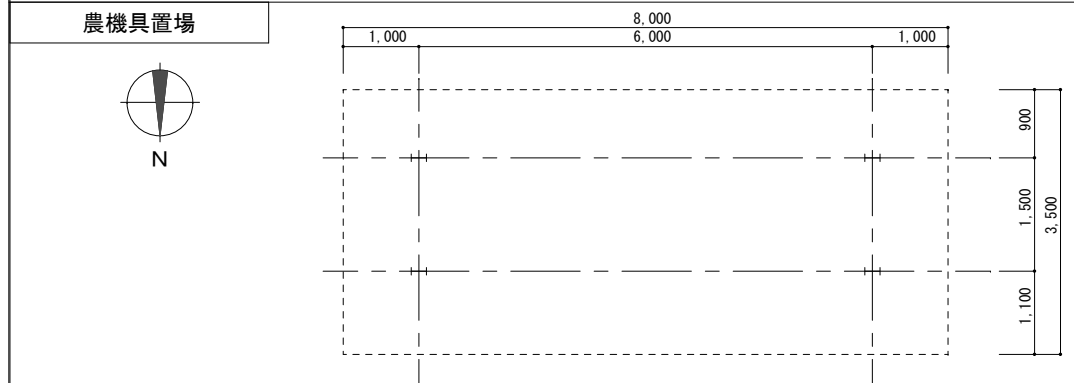


A-A' 断面図 S=1/50

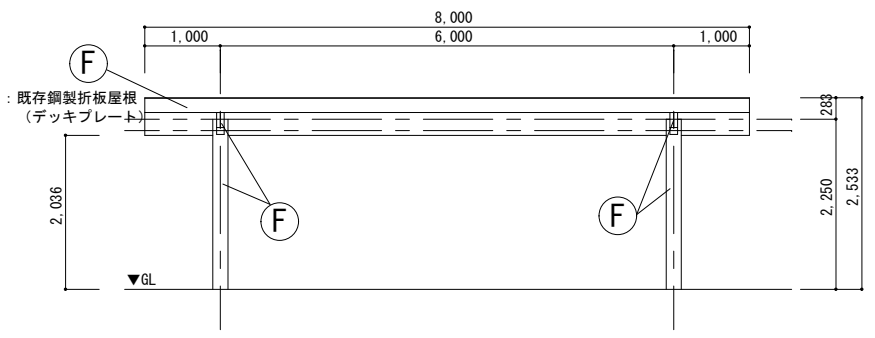


南・北立面図 S=1/50

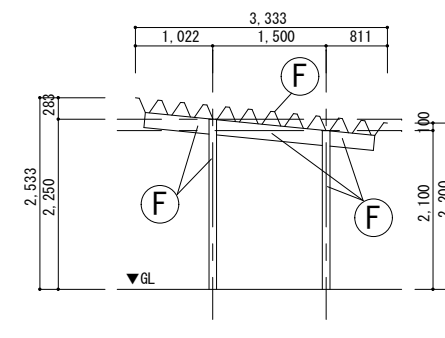
凡例	改修内容
	既存 防水モルタルコテ押え
	改修 平場・立上り: 水洗い、下地調整(ケツク処理・目地埋め共)の上 ルチコン <sup>®</sup> 塗差膜防水(X-2工法) ※手摺基部: 100mm程度巻き上げ
	改修 ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
	既存 シート防水
	改修 平場: 水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系 <sup>®</sup> フイバーグシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
	改修 ◎ 箇所: SUS脱気筒取付
	改修 ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
	既存 シート防水
	改修 立上り・溝部: 既存防水層撤去、ケレン・清掃、水洗い、下地調 整(ケツク処理共)の上 合成高分子系 <sup>®</sup> フイバーグシート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法)
	改修 端部押え(笠木・立上り部): アルミ <sup>®</sup> φ45×65取付(シーリング仕舞)
	既存 VP 縦樋φ100
	改修 既存撤去(金具共)の上 ｶﾞｰVPφ100取付(SUS金具共)
	改修 【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
	改修 水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm <sup>2</sup> ]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及び <sup>®</sup> カ-基準を満たす ものとする。
	共通事項



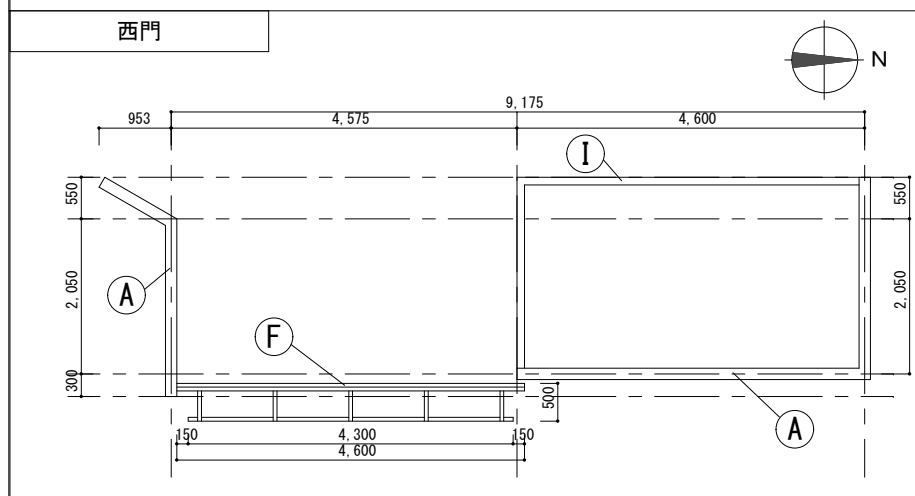
平面図 S=1/50



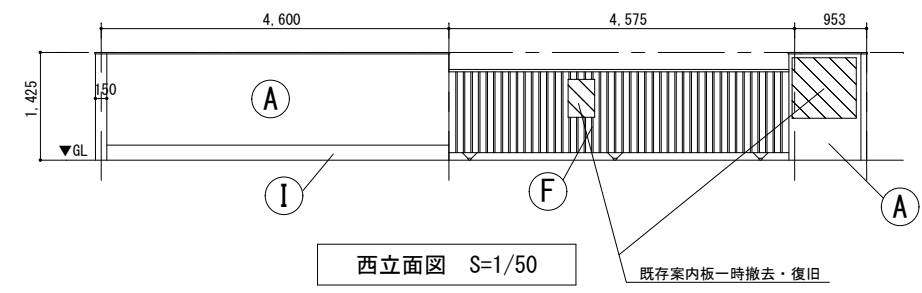
北立面図 S=1/50



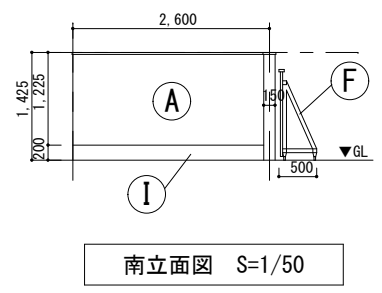
西立面図 S=1/50



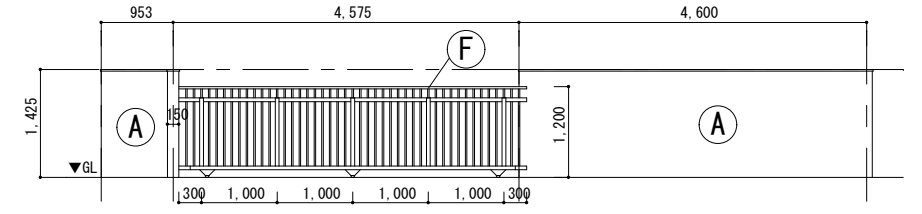
平面図 S=1/50



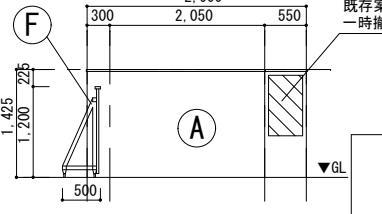
西立面図 S=1/50



南立面図 S=1/50



東立面図 S=1/50



北立面図 S=1/50

凡例	仕上げ
	既存 外壁: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付
	改修 外壁: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り 軒裏: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り ■部: 外壁複合改修工法(F工法)施工範囲
	既存 耐震CON壁: 外装薄塗材E吹付 耐震鉄部: DP塗装
	改修 耐震CON壁: 清掃の上 複層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部: 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性 塗料塗り(DP)
	既存 外壁石綿含有部: アクリルリシン吹付 外壁: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り
	改修 軒裏: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り
	既存 縦樋: VPφ100
	改修 既存撤去(金具共)の上 ｶﾞｰVPφ100取付(SUS金具共)
	既存 柱型: 杉板コンパネ打放し シリコン吹付 外壁: 杉板コンパネ打放し シリコン吹付
	改修 柱型: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 梁型: 外壁、梁型: 外壁劣化改修、水洗い、 下地調整(C-1)の上、複層塗材E塗り
	既存 鉄部: 塗装仕上げ
	改修 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)
	既存 縦樋: VPφ75
	改修 既存撤去(金具共)の上 ｶﾞｰVPφ75取付(SUS金具共)
	既存 軒樋: VP W130
	改修 既存撤去(金具共)の上 ｶﾞｰVPW130取付(SUS金具共)
	既存 既存仕上: 石、レンガ、モルタルコテ押え
	改修 水洗い
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建具周囲・水切端部: 変成シリコン系シーリング(MS-2)15×10打替</li> <li>・ 既存鉄部: 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)</li> <li>・ [対象]設備配管・換気口・ｶﾞｰｶﾞｰ・電気BOX・建具(両面・小口・枠共)・その他監督員が指示するもの</li> <li>・ 基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と思われる場合は監督員と協議する。</li> </ul>	

工事名称	福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事	尺度	S = 1/50
図面名称	附属棟(渡り廊下、農機具置場、西門)	縮尺率	A1=100% A2=71% A3=50%
図面No.	12	図面No.	12
福山市建設局建築部営繕課			

# 参考数量書

§ 工事名称 福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事

§ 工事場所 福山市新市町大字新市 8 5 2 番地

## 特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

# 設 計 書

工事名称 福山市立新市小学校北棟校舎外壁改修工事

工事場所 福山市新市町大字新市 8 5 2 番地

## 【工事概要】

防水改修、外壁改修、塗装改修

対象建物	北棟校舎 鉄筋コンクリート造 延べ面積 501㎡	2階建
	渡り廊下 鉄骨造 延べ面積 48.25㎡	平家建
	倉庫 コンクリートブロック造 延べ面積 48㎡	2階建
	農機具置場 鉄骨造 延べ面積 9㎡	平家建

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		





















渡り廊下					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					









西門					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

北棟校舎		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		169	m <sup>2</sup>			
開口養生		148	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け(外壁改修)		169	m <sup>2</sup>			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	380	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	380	m <sup>2</sup>			
墨出し(屋上防水改修)		325	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 150日	732	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場	150日 庇部 フラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	247	m			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	76.6	m			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	732	m <sup>2</sup>			
金網式養生枠	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	152	m <sup>2</sup>			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	1	か所			
計						

北棟校舎		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	380	㎡			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	380	㎡			
改修用ルーフトレ (トーム型)	75φ 縦型 材工共	2	か所			
改修用ルーフトレ (トーム型)	100φ 縦型 材工共	7	か所			
出隅部面取り	ウレタンゴム系塗膜防水施工小庇・バルコ ニ立上り上端部 シート防水施工立上り内上端部	145	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	55	㎡			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	55	㎡			
端部押え金物撤去	シーリング撤去共 集積共	76.6	m			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	111	㎡			
下地調整 改修仕様 (シート防水)	ポリマーセメントペースト	111	㎡			
合成高分子系ルーフ ィングシート防水 (S-F2)	接着工法(S-F2) t2.0 材工共	72.5	㎡			
合成高分子系ルーフ ィングシート防水 (S-M2)	機械的固定工法(S-M2) t1.5 材工共	252	㎡			
防水押えアルミアンクル (材工共)	L-45*65*1.5 ジョイント、ビス含む シーリング共	76.6	m			
SUS脱気筒	材工共	4	か所			
シーリング撤去	集積共	358	m			
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	358	m			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	62.2	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カテー)	径75 SUS金具共	6.9	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カテー)	径100 SUS金具共	55.3	m			
エルボ	径75 80° エルボ	4	か所			



北棟校舎		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	448	m <sup>2</sup>			
A-1 打放し面表面劣化 処理		4.1	m <sup>2</sup>			
A-2 モルタル面表面劣化 処理		7.9	m <sup>2</sup>			
B-2 打放し面Uカットシール 材充填工法	1.0mm以上 挙動 有り	0.6	m			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	1.2	m			
C-1 クラック部打放し面 サビ鉄筋処理		0.9	m			
C-2 クラック部モルタル面 サビ鉄筋処理		1.7	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25m <sup>2</sup> 以上	0.8	m <sup>2</sup>			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m <sup>2</sup> 以下 一般部(16カ所/m <sup>2</sup> )	15.4	m <sup>2</sup>			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m <sup>2</sup> 以下 指定部(25カ所/m <sup>2</sup> )	6	m <sup>2</sup>			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m <sup>2</sup> 以下 狭幅部(5カ所/m)	2.9	m			
E-2 打放し部欠損部 処理	樹脂モルタル	0.3	m <sup>2</sup>			
E-3 モルタル面欠損部 処理	樹脂モルタル	0.5	m <sup>2</sup>			
F 外壁複合改修	ピンネット工法	74.8	m <sup>2</sup>			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	76.6	m			
計						

北棟校舎		外壁改修工事		塗装改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	448	㎡			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	34.9	㎡			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ローラー塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	413	㎡			
DP塗り(細物) (換気口・配管)	VP管 3級 B種 下地調整RB種 配管端末穴埋共	29.2	m			
DP塗り(設備BOX)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)共	0.3	㎡			
DP塗り (ウレタンカバー)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)共	1	か所			
計						



















倉庫		仮設工事			直接仮設	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		65.6	m <sup>2</sup>			
開口養生		11.1	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け(外壁改修)		65.6	m <sup>2</sup>			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	42.2	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	42.2	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W600 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 90日	178	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場	90日 底部 フラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	32.8	m			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 90日	32.8	m			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 90日	178	m <sup>2</sup>			
金網式養生柵	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 90日	59	m <sup>2</sup>			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	1	か所			
計						

倉庫		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	42.2	m <sup>2</sup>			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	42.2	m <sup>2</sup>			
改修用ルーフトレ (トーム型)	75φ 縦型 材工共	2	か所			
出隅部面取り	ウレタンゴム系塗膜防水施工小庇・パルコ -立上り上端部 シート防水施工立上り内上端部	23.2	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	42.2	m <sup>2</sup>			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面	32.6	m <sup>2</sup>			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	4.9	m <sup>2</sup>			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 笠木・手摺天端	23.2	m			
シーリング撤去	集積共	24.4	m			
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	24.4	m			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	10.5	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カラー)	径75 SUS金具共	10.5	m			
計						

倉庫	外壁改修工事			外壁劣化改修工事			
	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	107	m <sup>2</sup>			
A-1	打放し面表面劣化 処理		0.3	m <sup>2</sup>			
A-2	モルタル面表面劣化 処理		2.6	m <sup>2</sup>			
B-6	モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	0.1	m			
C-1	クラック部打放し面 サビ鉄筋処理		0.1	m			
C-2	クラック部モルタル面 サビ鉄筋処理		0.6	m			
D-1	モルタル面はつり	0.25m <sup>2</sup> 以上	0.2	m <sup>2</sup>			
D-2	モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m <sup>2</sup> 以下 一般部(16カ所/m <sup>2</sup> )	3.6	m <sup>2</sup>			
D-2	モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m <sup>2</sup> 以下 指定部(25カ所/m <sup>2</sup> )	1.4	m <sup>2</sup>			
D-2	モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m <sup>2</sup> 以下 狭幅部(5カ所/m)	0.7	m			
E-3	モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	0.2	m <sup>2</sup>			
F	外壁複合改修	ビネット工法	18.8	m <sup>2</sup>			
	アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	24.8	m			
	計						



































